



公益社団法人
神奈川県薬剤師会

平成 29 年度

神奈川県患者のための薬局ビジョン推進事業



目次

目次

事業目的	1
事業概要	
事業の実施内容	
事業の実施結果	3
アンケート結果	8
薬剤師からの意見等	42
考察	
事業の成果	44
今後の課題及びその解決策	
まとめ	
参考資料	46

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

平成29年度 神奈川県患者のための薬局ビジョン推進事業報告

1 事業目的

「患者のための薬局ビジョン」の公表や「健康サポート薬局」制度の創設を踏まえ、神奈川県ではホームページでかかりつけ薬剤師・薬局の役割や意義を情報提供している。

また、(公社)神奈川県薬剤師会においても、平成27年から独自に「くすりと健康相談薬局」認定制度を創設し、積極的に薬局・薬剤師による健康相談を実施している。

しかし、薬局・薬剤師は「処方箋調剤を行っているだけ」というイメージを払拭できておらず、「健康相談」や「在宅対応」していること等は、まだ十分に県民に浸透していない。

本事業では、対象者の世代に着目し、ターゲットを子育て世代、中高年世代、高齢世代の3つに絞ることで、世代に偏ることなく、また世代で途切れることなく幅広い世代に、かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局をもつ有用性等を実感してもらおうとともに、世代毎に求めている健康情報を把握して、今後の取組みを効率よく効果的に実施すること、そして、薬局・薬剤師による薬・健康相談等を通して、かかりつけ薬剤師・薬局の利用推進を図るものとする。

2 事業概要

子育て世代、中高年世代、高齢世代を対象に、保育所や協会けんぽ加入の事業所、地域のイベント会場等に薬剤師が出張し、薬や健康相談を実施して県民にかかりつけ薬剤師・薬局の有用性等について周知を図るとともに、各世代が求める薬局・薬剤師の機能や役割を把握する。

3 事業の実施内容

(1) 薬局・薬剤師による健康相談等検討会の開催

3つの世代をターゲットにした出張お薬・健康相談事業を実施するにあたり、本事業の総括を行うための「薬局・薬剤師による健康相談等検討会」を設置する。

ア 検討会構成委員

横浜薬科大学教授、(公社)神奈川県医師会副会長、全国健康保険協会神奈川支部(以下「協会けんぽ」という)職員、(公社)神奈川県薬剤師会会長、地域薬剤師会会員、行政職員

イ 検討会の役割

- ・ 事業実施地域の選定
- ・ 事業の方向性及び進め方の決定
- ・ アンケート内容の検討及びアンケート結果の解析
- ・ 事業の進捗把握や事業スケジュールの決定・管理
- ・ 評価指標の検討



- ・ 事業評価及び今後の事業展開する上での課題検討

ウ 開催回数

出張相談事業実施前及び実施後の計 2 回

(2) 薬局・薬剤師による出張お薬・健康相談事業の実施

神奈川県内の地域薬剤師会が主体となり、県内複数の地域で、各世代を対象に次のとおり出張お薬・健康相談事業を実施し、県民にかかりつけ薬剤師・薬局の有用性を周知する。

ア 出張お薬相談隊 ～子育て世代対象～

子供を持つ保護者を対象に、次の 2 つの方法により、薬局・薬剤師が出張し、薬や健康の相談を実施する。

(ア) 保育所を訪問して、保護者や保育士に薬の相談や健康相談を行う。

併せて訪問した薬剤師が、当該保育所の地域において積極的に健康相談の対応をしている薬局のリストを配布し、相談事業後のかかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の普及定着を図る。

(イ) 商業施設内あるイベントエリア等の開放スペースにおいて、子供に模擬調剤など薬局の薬剤師業務を体験してもらうとともに、薬相談や健康相談を実施する。

イ 出張お薬相談隊 ～中高年世代対象～

平成28年12月、県薬は協会けんぽと健康づくりに関する協定を締結したことから、協会けんぽに加入している事業所に薬局・薬剤師が訪問し、薬相談や健康相談を行う。

併せて訪問した薬剤師が当該事業所の地域において積極的に健康相談の対応をしている薬局のリストを事業所の従事者に配布し、相談事業後のかかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の普及定着を図る。

ウ 地域と共同したお薬等健康相談会～高齢世代対～

地域の自治体が開催する健康相談会や市民フェア等において、高齢者に多い認知症、骨粗鬆症や排尿障害などの薬相談や健康相談、関係機関や団体の紹介など行う。

(3) アンケートの実施

各世代が薬局・薬剤師に求める役割や機能、必要な情報を把握するとともに、事業実施による意識の変容を確認するためのアンケートを実施する。

ア 事前アンケートの実施

- ・ 対象者：相談事業実施保育園の全保護者（子育て世代）
相談事業実施協会けんぽ加入事業所の全従業員（中高年世代）
- ・ 内 容：薬局で健康相談を行っていることの認知度
かかりつけ薬剤師・薬局の認知度
薬局・薬剤師に望む役割や、相談したい内容 など

イ 相談後アンケートの実施

- ・ 対象者：全世代相談事業の相談者
- ・ 内 容：薬局・薬剤師に相談したいこと

相談事業によって、意識の変容があったか など



4 事業の実施結果

(1) 薬局・薬剤師による健康相談等検討会の開催

ア 第1回検討会の開催

- 開催日 平成29年9月15日(金)
- 開催場所 神奈川県総合薬事保健センター

出席者

横浜薬科大学薬学部長	石毛 敦
公益社団法人神奈川県医師会副会長	池上 秀明
全国健康保険協会神奈川支部企画総務部グループ長	磯野 寧宏
神奈川県保健福祉局生活衛生部薬務課GL	石川 哲也
〃 副技幹	黒澤 淑子
一般社団法人川崎市薬剤師会会長	嶋 元
一般社団法人伊勢原市薬剤師会理事	菊地 義明
公益社団法人神奈川県薬剤師会 会長	鶴飼 典男
〃 常務理事	唐澤 淳子
オブザーバー	
川崎市健康福祉局保健所医事・薬事課課長	香川 貴則 (他2名)

- 検討内容及び結果
 - ・各事業実施地域の選定
 - ・各事業の進め方について
 - ・各事業内容におけるアンケートの実施について
 - ・事業の進捗把握や事業スケジュールの決定

イ 第2回検討会の開催

- 開催日 平成30年3月2日(金)
- 開催場所 神奈川県総合薬事保健センター
- 出席者

横浜薬科大学薬学部長	石毛 敦
公益社団法人神奈川県医師会副会長	池上 秀明
全国健康保険協会神奈川支部企画総務部長	内田 浩
神奈川県保健福祉局生活衛生部薬務課副技幹	黒澤 淑子
一般社団法人川崎市薬剤師会会長	嶋 元
公益社団法人神奈川県薬剤師会常務理事	唐澤 淳子
オブザーバー	
川崎市健康福祉局保健所医事・薬事課課長 (2名)	

- 検討内容及び結果：
 - 各世代における結果から、薬剤師の機能を活かしていくことや患者対応への意識を高めることの重要性を感じる。
 - 今回のアンケートからは相談前後での満足度について、相談して良かったのか、相談す



ることにより的確な回答を得られなかったなどを調べることも今後必要と感じた。

相談内容のうち「ご自身が使用している薬」についての相談が一番多かったことは、薬局薬剤師として、調剤時における説明の不足もうかがわれた。

処方時に丁寧な説明を心がけていると思うが、薬の副作用について詳しい説明を行なうことは以外に少ないのかもしれない。患者は、ネットにより情報を収集していることも多く、ネットからの情報で確認や質問をしていくことがある。現在は、製薬メーカーなどのホームページにおいて、情報収集ができるなど、個人で情報を取得していることが考えられる。

情報化時代においては、どこからでも情報を手にすることができるが、それは、一方通行の情報であり双方向の相談というものには及ばないものである。患者個人が情報を入手することは容易になったが、薬局での対面によるお薬情報の提供に伴う相談は、今後欠くことのできないものであり、今回のアンケート結果は、薬局・薬剤師が「患者のための薬局ビジョン」を推進する上で非常に参考となった。

(2) 薬局・薬剤師による出張お薬・健康相談事業の実施

ア 出張お薬相談隊 ～子育て世代対象～

(ア) 保育所版

a 事業を実施した地域

伊勢原市・横須賀市・横浜市（金沢区）・横浜市（鶴見区）

b 相談事業の選定および実施について

実施保育園の選定に向けて市町村担当課との当事業の説明を実施。

事前に保育園への相談日の周知方法や事前アンケートを配布。

保育園（保育士）から保護者への相談会の告知。保育園イベント終了後に保育園園長より保護者への相談会の告知。

相談コーナーを設置して、お迎え時間の相談実施（伊勢原市・横須賀市・横浜市金沢区）

保護者を一堂に会しての講座の開催（横浜市鶴見区）

c 相談事業の実施結果

実施地域薬剤師会	実施場所	実施日	薬剤師数	相談者数	アンケート回収数	
					事前	事後
伊勢原市薬剤師会	大山保育園	11/30	2名	1名	14枚	1枚
	高部屋愛育保育園	11/29, 30	各日2名	10名	27枚	10枚
	中央保育園	11/29, 12/6	各日2名	22名	21枚	22枚
	小計		延10名	33名	62枚	33枚
横須賀市薬剤師会	逸見保育園	11/21, 24, 29	各日4名	8名	32枚	8枚
	久里浜和順保育園	12/4, 5, 14	各日4名	14名	55枚	14枚
	長井婦人会保育園	12/6, 7, 8	各日4名	9名	60枚	9枚
	小計		延36名	31名	147枚	31枚
鶴見薬剤師会	あけぼの共同保育園	1/13	1名	13名	13枚	0枚
金沢区薬剤師会	トト子育支援拠点	9/20, 11/30, 1/25	4名	13名	10枚	0枚
合計		延18日	延51人	90人	232枚	64枚



(イ) 模擬調剤体験版

a 事業を実施した地域
相模原市

b 相談事業の実施方法
模擬調剤体験の参加のご家族への相談事業の実施

c 相談事業の実施結果

実施地域薬剤師会	実施場所	実施日	薬剤師数	相談者数	アンケート回収数	
					事前	事後
相模原市薬剤師会	相模原市総合保健医療センター	10/21	4名	12名	10枚	

d 主な相談内容

虫刺され

子供の薬の飲ませ方

薬の消費期限

鼻水が出ると心配ですぐ通院させてしまうが通院するべきかどうか相談したくてもどこに相談したらよいかわからない

乗り物酔い

湿疹（手・顔など、蕁麻疹）

ドライスキン・乾燥肌（体・顔）

喘息（咳喘息・小児喘息）

妊娠中や授乳中の薬

授乳中のアレルギー薬の服用について（卵白アレルギー）

便秘

スキンケア

薬の相談（湿疹、鼻水、乗り物酔い（抗ヒスタミン薬・アレルギー）、坐薬、使用期限、）

OTC医薬品（処方薬（便秘薬）とOTC薬の併用）

海外旅行にもっていく市販薬など

保護者のくすり

ご家族のくすり

子供の薬の飲ませ方

ジェネリック医薬品（ジェネリック医薬品に対する不安について、効き目について）

電子お薬手帳について

残薬の処理方法について

イ 出張お薬相談隊 ～中高年世代対象～

a 事業を実施した地域
川崎市



b 事業所の選定および実施について

川崎市薬剤師会が協会けんぽと健康づくりに関する協定を締結していることから、協会けんぽに加入している事業所の事業協力の調整を行なった。

協力事業所へ事業内容の案内資料を送付し、受け入れ確定後に日程調整、事業事前説明を実施した。

訪問した薬剤師が当該事業所で行う事前アンケートを参考にお薬相談を実施した。

c 相談事業の実施結果

実施地域薬剤師会	実施場所	実施日	薬剤師数	相談者数	アンケート回収数	
					事前	事後
川崎市薬剤師会	川崎市社会福祉協議会	12/6	2名	28名	39枚	28枚
	ひまわり交通㈱	12/12	2名	9名	12枚	9枚
	高木会系事務所	12/14	2名	4名	27枚	4枚
	日本保険サービス協会	12/14	2名	5名		5枚
	日本オフィスコンサルタント㈱	12/14	2名	3名		3枚
	㈱経営管理センター	12/14	2名	3名		3枚
合計		延6日	延12名	52名	78枚	51枚

d 主な相談内容

アレルギー薬の服用について

後発品の効能について

サプリメントや健康食品について

薬の長期服用について

残薬の処理方法について

お薬手帳及び電子お薬手帳の使い方について

後発品の効き目について（後発品の効果について）

処方薬の長期服用について

後発品に対する不安について

お薬手帳、かかりつけ薬局のメリットについて

市販薬と処方薬の違いについて

適正な薬の飲み方について

医薬品の管理について

ウ 地域と共同したお薬等健康相談会～高齢世代対象～

a 事業を実施した地域

小田原市・大和綾瀬市

B 相談事業の実施方法

地域の自治体が開催する健康相談会や市民フェア等において、高齢者に多い認知症などの薬相談や健康相談を実施。



c 相談事業の実施結果

実施地域薬剤師会	実施場所	実施日	薬剤師数	相談者数	アンケート回収数	
					事前	事後
小田原市薬剤師会	HaRuNa小田原	10/1	16名	27名	86枚	11枚
	ダイゼイ (西武小田原店)	10/15	23名	43名	83枚	43枚
大和綾瀬薬剤師会	大和市文化創造拠点シラス	11/26	33名	—	148枚	0枚
合計		延3日	延72日	45名	317枚	54枚

d 主な相談内容

服用中の漢方薬の副作用が心配
サプリメントとの併用について (プロテインの摂取について)
週刊誌で認知症になると謳われた薬を継続して問題ないか
ジェネリック医薬品希望の相談
術後の経過の心配 (むくみ)
薬の減量を医師へ申し出て良いか
服用中の薬でかゆみを引き起こす可能性があるか
薬の飲み合わせについて (安定剤と降圧剤)
継続して服用している薬の飲み合わせについて
抗血栓薬服用後、あざが気になる
体質とお困りの症状について
薬がのどを通りづらい
残薬の調整について
親の服用について、医師・薬剤師への相談をきちんとする環境になかった
副作用について
食後って、食事の直後 30 分あけないといけないのか
孫 (幼稚園児) の昼の服用ができないので
爪のワレについて (服用している薬の副作用か)
服用のタイミング (のみ忘れた際の対応、服用した薬による腫みがある)
糖尿病のくすりの服用について
手の痺れについて
お薬手帳、かかりつけ薬局とは
市販薬との効果の違いについて (処方せん薬の方が強いと思っているが)
降圧剤、安定剤を服用している際の食べ合わせについて
コレステロールの服用について (飲み忘れの際の対応)
眠剤の長期投与について
睡眠導入剤を服用し続けることに抵抗があるが、服用しないと心配で眠れない
インターネット販売の医薬品は何に気をつけたらよいか



5 アンケート結果

今回の調査対象は3つの階層を対象として実施した事前アンケート及び相談後のアンケートを集計した結果、子育て世代は20～40歳代、中高年世代は30～60歳代、高齢世代は50歳代以上であり、これに基づいたアンケートを回収することができた。

このアンケートの結果は次のとおりである。

世代	子育て世代	中高年世代	高齢世代	回収率
20代	20.5	20.5	20.5	20.5%
30代	20.5	20.5	20.5	20.5%
40代	20.5	20.5	20.5	20.5%
50代	20.5	20.5	20.5	20.5%
60代	20.5	20.5	20.5	20.5%
70代	20.5	20.5	20.5	20.5%
80代	20.5	20.5	20.5	20.5%
90代	20.5	20.5	20.5	20.5%
100代	20.5	20.5	20.5	20.5%

世代	子育て世代	中高年世代	高齢世代	回収率
20代	20.5	20.5	20.5	20.5%
30代	20.5	20.5	20.5	20.5%
40代	20.5	20.5	20.5	20.5%
50代	20.5	20.5	20.5	20.5%
60代	20.5	20.5	20.5	20.5%
70代	20.5	20.5	20.5	20.5%
80代	20.5	20.5	20.5	20.5%
90代	20.5	20.5	20.5	20.5%
100代	20.5	20.5	20.5	20.5%

世代	子育て世代	中高年世代	高齢世代	回収率
20代	20.5	20.5	20.5	20.5%
30代	20.5	20.5	20.5	20.5%
40代	20.5	20.5	20.5	20.5%
50代	20.5	20.5	20.5	20.5%
60代	20.5	20.5	20.5	20.5%
70代	20.5	20.5	20.5	20.5%
80代	20.5	20.5	20.5	20.5%
90代	20.5	20.5	20.5	20.5%
100代	20.5	20.5	20.5	20.5%

Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	子育て	中高年	高年齢
男性	3.7%	52.6%	28.1%
女性	96.3%	47.4%	71.9%

Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

	子育て	中高年	高年齢
～20代	14.5%	3.8%	5.7%
30代～40代	72.3%	60.3%	17.4%
50代～60代	10.7%	33.3%	29.0%
70代～	0.8%	1.3%	47.9%
未記入	1.7%	1.3%	0.00%

Q3 薬局の薬剤師には、調剤した薬以外にも、市販の薬や日常の健康相談などができることを知っていますか。

	子育て	中高年	高年齢
知っている	42.6%	35.9%	56.5%
知らない	49.2%	62.8%	43.5%
未記入	8.3%	1.3%	0.00%

Q4 あなたは、「かかりつけ薬剤師・薬局」のことを知っていましたか。

	子育て	中高年	高年齢
知っている	34.7%	30.8%	58.0%
聞いたことがあるが詳しくは知らなかった	37.2%	38.5%	18.0%
知らなかった	25.2%	30.8%	24.0%
未記入	2.9%	0.0%	0.0%

事前アンケート 世代別まとめ

Q5 あなたが薬局で薬剤師へ相談したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	子育て		中高年		高齢	
	件数	順位	件数	順位	件数	順位
ご自身が使用している薬のこと	74	3位	35	1位	145	1位
ご家族が使用している薬のこと	55	5位	17	5位	39	
お子さんへの薬の飲ませ方	101	1位	9		19	
薬などの誤飲に対する相談	15		3		3	
ジェネリック医薬品のこと	63	4位	25	3位	69	2位
市販薬のこと	99	2位	26	2位	48	4位
サプリメントなど健康食品のこと	36		19	4位	67	3位
健康の保持・増進のこと	18		6		47	5位
在宅医療や介護のこと	14		2		20	
医療費のこと	15		4		19	
その他	9		4		15	
未記入	8		5		0	
合計	507		155		491	

Q6 あなたが薬局で薬剤師へ望むことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	子育て		中高年		高齢	
	件数	順位	件数	順位	件数	順位
薬の効果や副作用の継続的な確認	140	1位	52	1位	184	1位
飲み忘れ等により残った薬の管理等	82	3位	20	3位	78	3位
複数の医療関係から出されたお薬の相互作用等の確認	107	2位	32	2位	80	2位
在宅医療の対応	13		2		20	
医療費(薬に関すること)に関する相談	13	5位	7	4位	28	5位
夜間・休日等における薬の相談	57	4位	4	5位	34	4位
その他	6		1		0	
未記入	11		7		0	
合計	429		125		424	

事後アンケート 世代別集計

Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	子育て	中高年	高年齢
男性	7.3%	37.3%	20.4%
女性	90.6%	62.7%	77.8%
未記入	1.9%	0.0%	1.9%

Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

	子育て	中高年	高年齢
～20代	21.9%	5.9%	13.0%
30代～40代	57.8%	54.9%	9.3%
50代～60代	18.8%	37.3%	29.6%
70代～	0.0%	2.0%	48.1%

Q3 本日はどのような相談をされてきましたか。あてはまるものすべてお選び下さい。

	子育て		中高年		高年齢	
ご自身が使用している薬のこと	15	2位	32	1位	12	1位
ご家族が使用している薬のこと	12	3位	14	2位	2	
お子さんへの薬の飲ませ方	24	1位	2		1	
ジェネリック医薬品のこと	7	4位	8	5位	8	2位
市販薬のこと	6	5位	12	3位	6	4位
サプリメントなど健康食品のこと	4		10	4位	2	
健康の保持・増進のこと	2		3		8	2位
在宅医療や介護のこと	0		1		1	
医療費のこと	2		0		0	
その他	5		5		4	5位
未記入	2		0		0	
合計	77		87		44	

事後アンケート 世代別集計

Q4 本日の相談以前から、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことを相談しようと思っていましたか。

	子育て	中高年	高年齢
以前から相談している	9.3%	2.0%	14.8%
機会があれば相談しようと思っていた	33.3%	37.3%	20.4%
相談したかったが遠慮していた	3.7%	11.8%	1.9%
相談しようと考えていなかった	27.8%	21.6%	20.4%
相談できることを知らなかった	16.7%	27.5%	1.9%
未記入	9.3%	0%	40.7%

Q5 今後は薬局の薬剤師へ調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

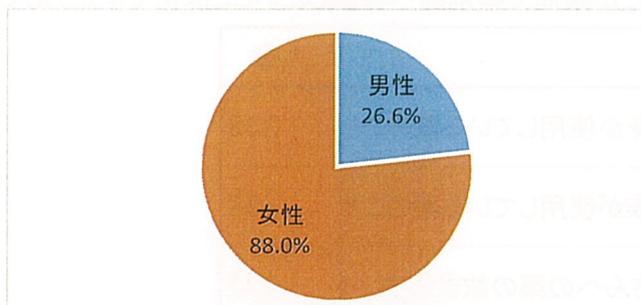
	子育て	中高年	高年齢
思う	50.0%	88.2%	51.9%
思わない	7.8%	0.0%	1.9%
分からない	39.1%	11.7%	0.0%
未記入	3.1%	0.0%	46.3%

Q6 上記で「1 思う」と回答された方に伺います。今後相談したいことは何ですか。当てはまるものを全てお選び下さい

	子育て	中高年	高年齢
ご自身が使用している薬のこと	15 2位	22 1位	12 1位
ご家族が使用している薬のこと	17 1位	16 3位	2
お子さんへの薬の飲ませ方	13 3位	6	2
薬などの誤飲に対する相談	2	2	0
ジェネリック医薬品のこと	12 4位	9	8 3位
市販薬のこと	11 5位	18 2位	9 2位
サプリメントなど健康食品のこと	5	15 4位	3 5位
健康の保持・増進のこと	5	15 4位	5 4位
在宅医療や介護のこと	1	2	1
医療費のこと	6	0	2
その他	0	1	0
合計	87	106	54

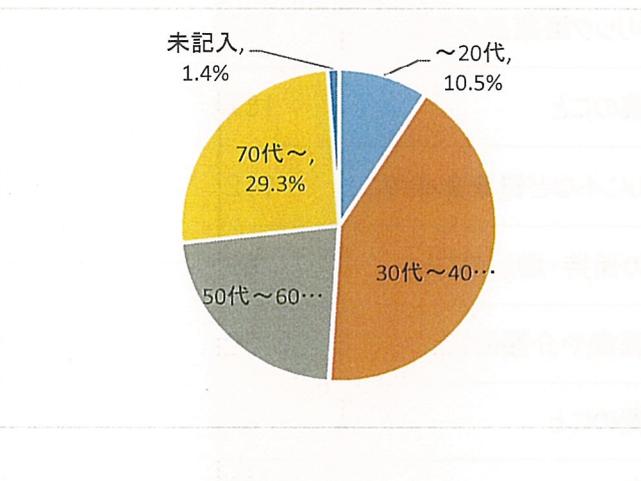
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	137	26.6%
女性	453	88.0%
未記入	0	0.0%
合計	590	100.0%



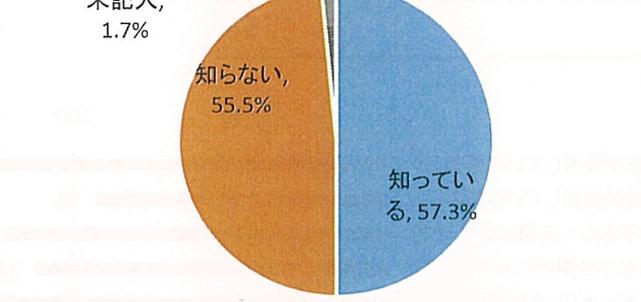
Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

	人数	%
～20代	54	10.5%
30代～40代	247	48.0%
50代～60代	131	25.4%
70代～	151	29.3%
未記入	7	1.4%
合計	590	100.0%



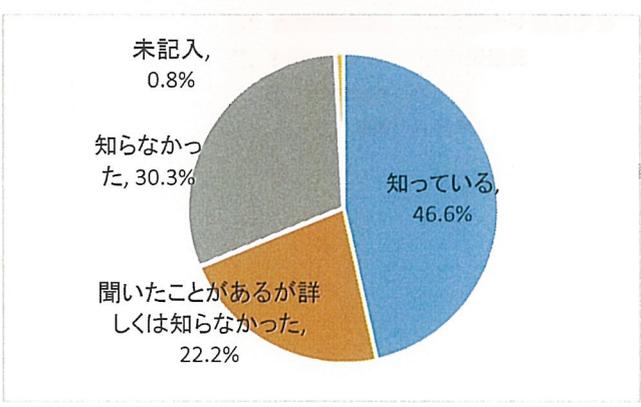
Q3 薬局の薬剤師には、調剤した薬以外にも、市販の薬や日常の健康相談などができることを知っていますか。

	人数	%
知っている	295	57.3%
知らない	286	55.5%
未記入	9	1.7%
合計	590	100.0%



Q4 あなたは、「かかりつけ薬剤師・薬局」のことを知っていましたか。

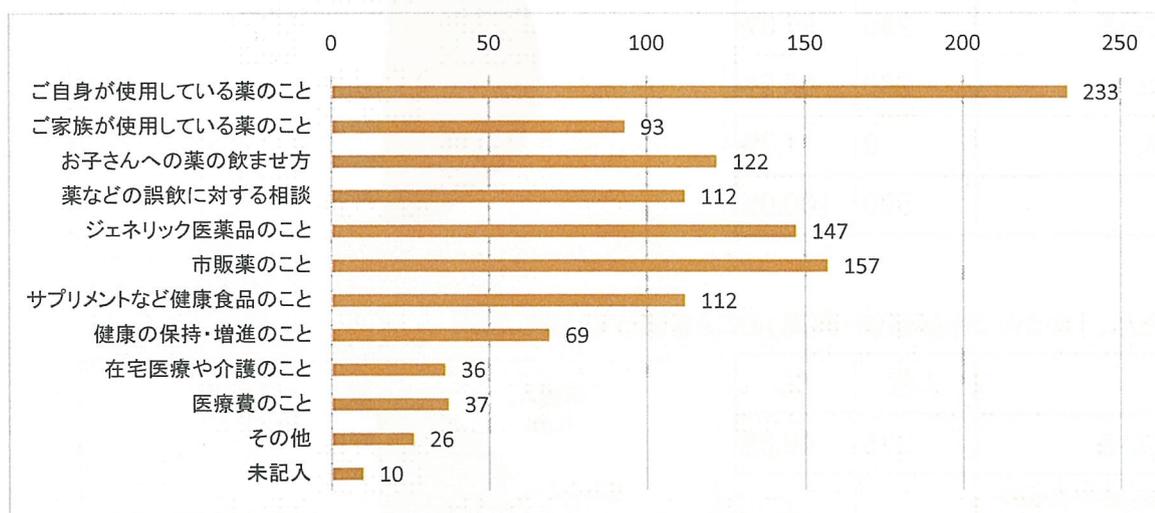
	人数	%
知っている	275	46.6%
聞いたことがあるが詳しくは知らなかった	131	22.2%
知らなかった	179	30.3%
未記入	5	0.8%
合計	590	100.0%



薬剤師・薬局に関する事前アンケート集計(合計)(590名)

Q5 あなたが薬局で薬剤師へ相談したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

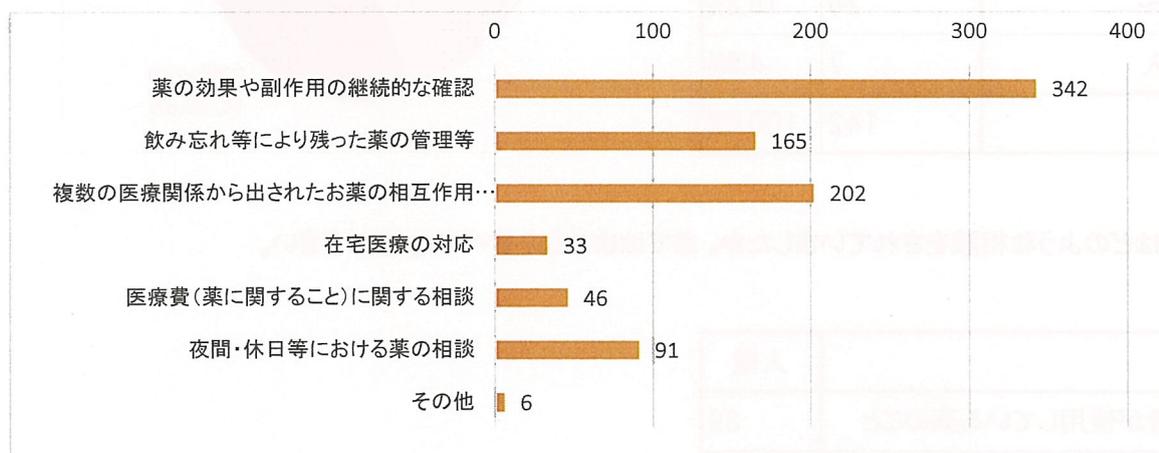
	人数
ご自身が使用している薬のこと	233
ご家族が使用している薬のこと	93
お子さんへの薬の飲ませ方	122
薬などの誤飲に対する相談	112
ジェネリック医薬品のこと	147
市販薬のこと	157
サプリメントなど健康食品のこと	112
健康の保持・増進のこと	69
在宅医療や介護のこと	36
医療費のこと	37
その他	26
未記入	10
合計	1154



薬剤師・薬局に関する事前アンケート集計(合計)(590名)

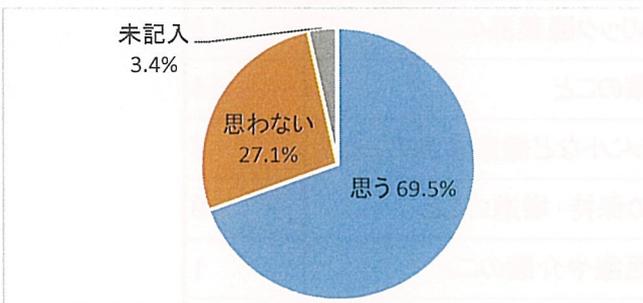
Q6 あなたが薬局で薬剤師へ望むことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	人数
薬の効果や副作用の継続的な確認	342
飲み忘れ等により残った薬の管理等	165
複数の医療関係から出されたお薬の相互作用等の確認	202
在宅医療の対応	33
医療費(薬に関すること)に関する相談	46
夜間・休日等における薬の相談	91
その他	6
未記入	15
合計	900



Q7 あなたは、今後、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

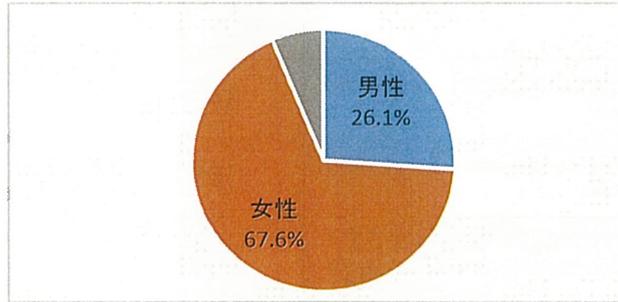
	人数	%
思う	410	69.5%
思わない	160	27.1%
未記入	20	3.4%
合計	590	100.0%



薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(合計)(142名)

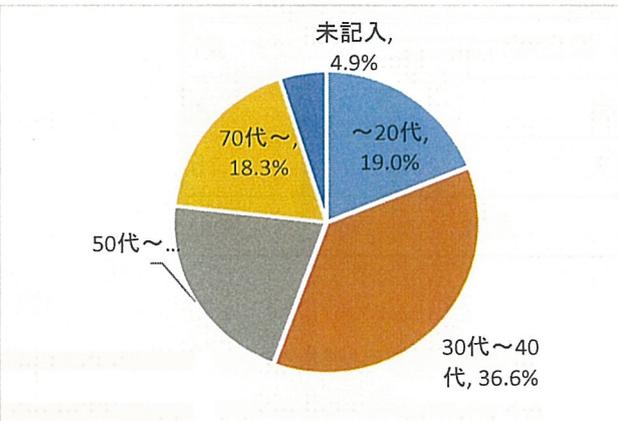
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	37	26.1%
女性	96	67.6%
未記入	9	6.3%
合計	142	100.0%



Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

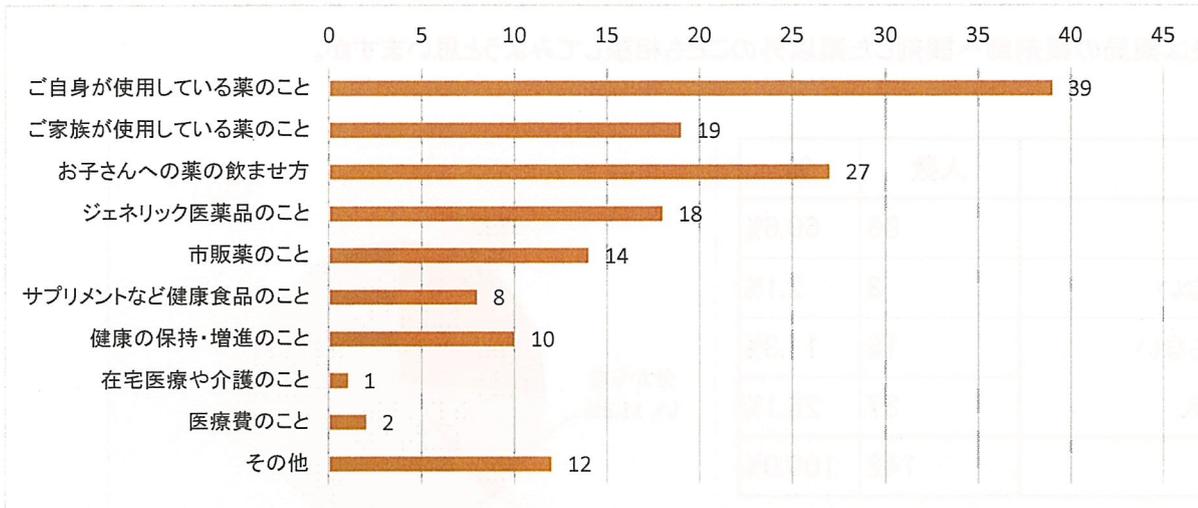
	人数	%
～20代	27	19.0%
30代～40代	52	36.6%
50代～60代	30	21.1%
70代～	26	18.3%
未記入	7	4.9%
合計	142	100.0%



Q3 本日はどのような相談をされてきましたか。あてはまるものすべてお選び下さい。

	人数
ご自身が使用している薬のこと	39
ご家族が使用している薬のこと	19
お子さんへの薬の飲ませ方	27
ジェネリック医薬品のこと	18
市販薬のこと	14
サプリメントなど健康食品のこと	8
健康の保持・増進のこと	10
在宅医療や介護のこと	1
医療費のこと	2
その他	12
合計	150

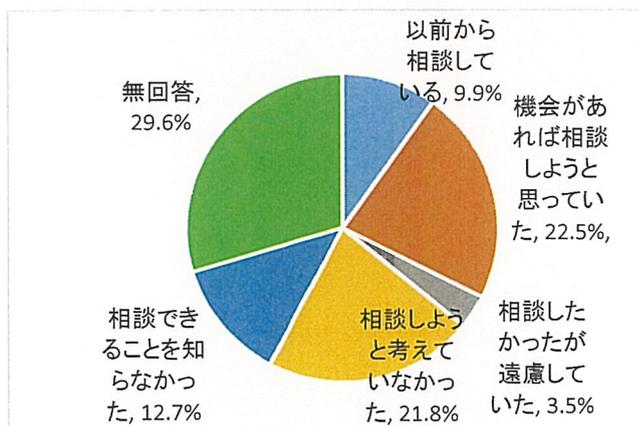
薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(合計)(142名)



Q4 本日の相談以前から、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことを相談しようと思っていましたか。

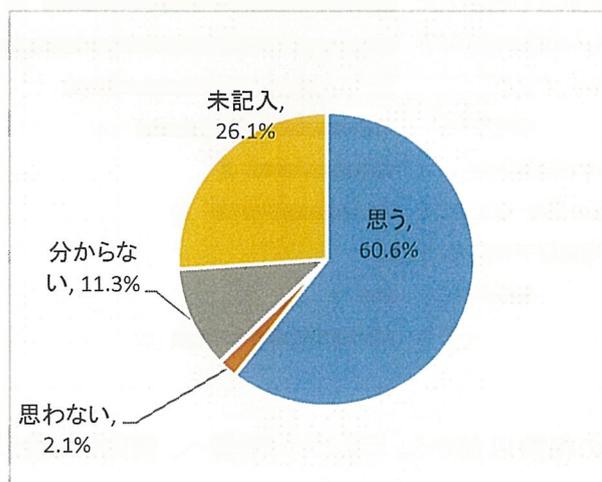
思っていましたか。

	人数	%
以前から相談している	14	9.9%
機会があれば相談しようと思っていた	32	22.5%
相談しなかったが遠慮していた	5	3.5%
相談しようと考えていなかった	31	21.8%
相談できることを知らなかった	18	12.7%
無回答	42	29.6%
合計	142	100.0%



Q5 今後は薬局の薬剤師へ調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

	人数	%
思う	86	60.6%
思わない	3	2.1%
分からない	16	11.3%
未記入	37	26.1%
合計	142	100.0%

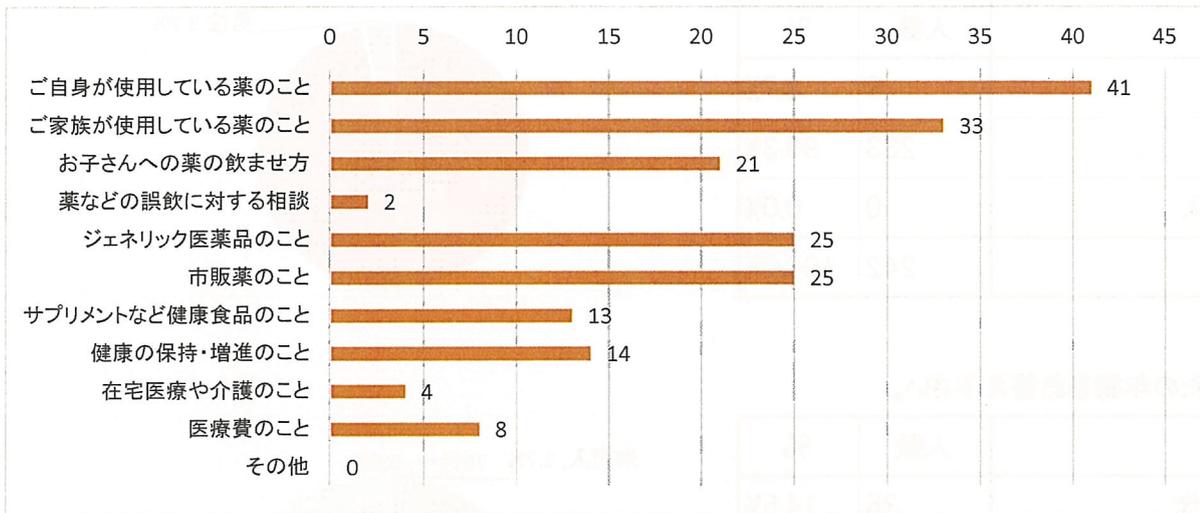


Q6 上記で「1 思う」と回答された方に伺います。今後相談したいことは何ですか。

当てはまるものを全てお選び下さい

	人数
ご自身が使用している薬のこと	41
ご家族が使用している薬のこと	33
お子さんへの薬の飲ませ方	21
薬などの誤飲に対する相談	2
ジェネリック医薬品のこと	25
市販薬のこと	25
サプリメントなど健康食品のこと	13
健康の保持・増進のこと	14
在宅医療や介護のこと	4
医療費のこと	8
その他	0
合計	186

薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(合計)(142名)



項目	人数	割合
ご自身が使用している薬のこと	41	29.0%
ご家族が使用している薬のこと	33	23.2%
お子さんへの薬の飲ませ方	21	14.8%
薬などの誤飲に対する相談	2	1.4%
ジェネリック医薬品のこと	25	17.6%
市販薬のこと	25	17.6%
サプリメントなど健康食品のこと	13	9.2%
健康の保持・増進のこと	14	9.9%
在宅医療や介護のこと	4	2.8%
医療費のこと	8	5.6%
その他	0	0.0%
合計	142	100.0%

薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(合計)(142名)



項目	人数	割合
ご自身が使用している薬のこと	41	29.0%
ご家族が使用している薬のこと	33	23.2%
お子さんへの薬の飲ませ方	21	14.8%
薬などの誤飲に対する相談	2	1.4%
ジェネリック医薬品のこと	25	17.6%
市販薬のこと	25	17.6%
サプリメントなど健康食品のこと	13	9.2%
健康の保持・増進のこと	14	9.9%
在宅医療や介護のこと	4	2.8%
医療費のこと	8	5.6%
その他	0	0.0%
合計	142	100.0%

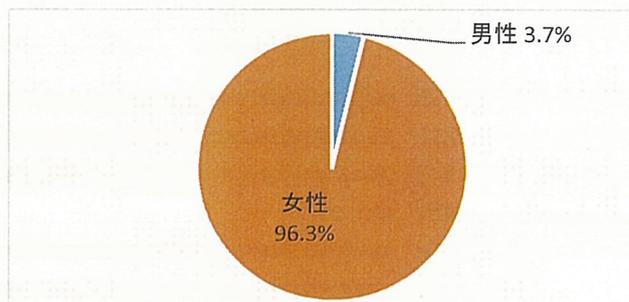
薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(合計)(142名)



項目	人数	割合
ご自身が使用している薬のこと	41	29.0%
ご家族が使用している薬のこと	33	23.2%
お子さんへの薬の飲ませ方	21	14.8%
薬などの誤飲に対する相談	2	1.4%
ジェネリック医薬品のこと	25	17.6%
市販薬のこと	25	17.6%
サプリメントなど健康食品のこと	13	9.2%
健康の保持・増進のこと	14	9.9%
在宅医療や介護のこと	4	2.8%
医療費のこと	8	5.6%
その他	0	0.0%
合計	142	100.0%

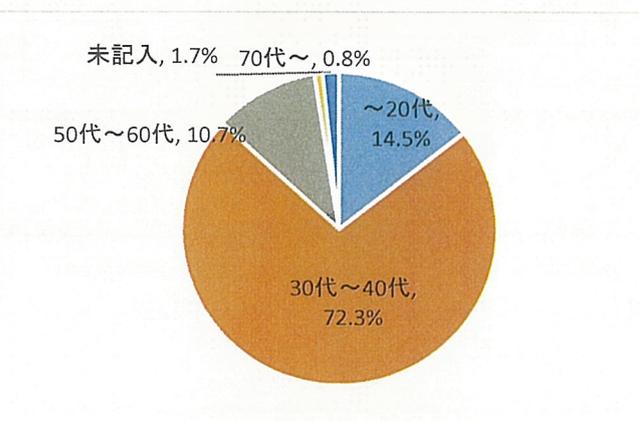
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	9	3.7%
女性	233	96.3%
未記入	0	0.0%
合計	242	100.0%



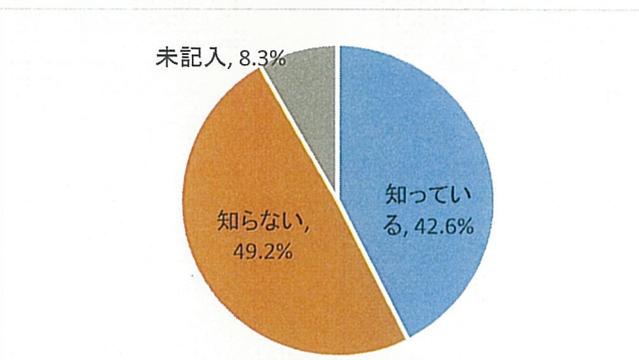
Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

	人数	%
～20代	35	14.5%
30代～40代	175	72.3%
50代～60代	26	10.7%
70代～	2	0.8%
未記入	4	1.7%
合計	242	100.0%



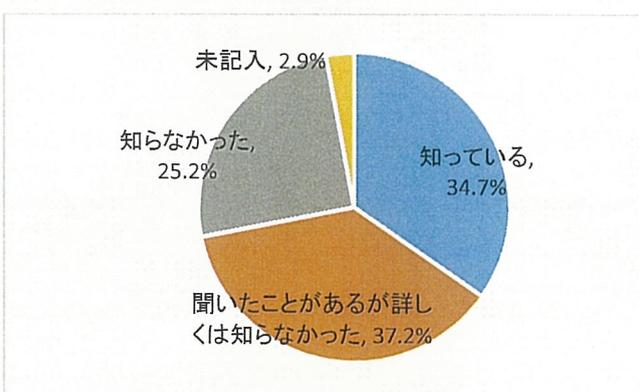
Q3 薬局の薬剤師には、調剤した薬以外にも、市販の薬や日常の健康相談などができることを知っていますか。

	人数	%
知っている	103	42.6%
知らない	119	49.2%
未記入	20	8.3%
合計	242	100.0%



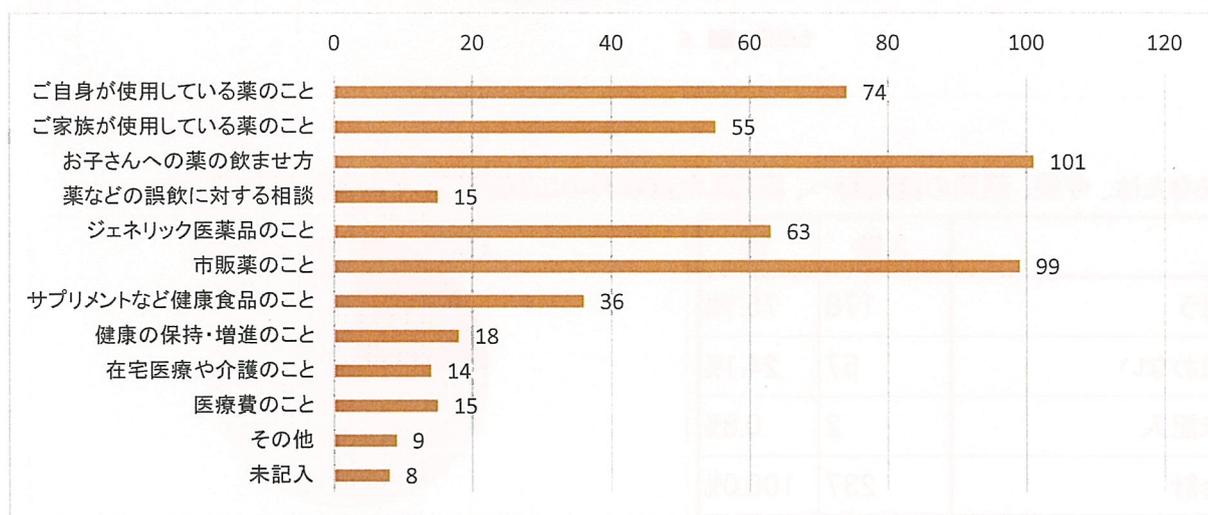
Q4 あなたは、「かかりつけ薬剤師・薬局」のことを知っていましたか。

	人数	%
知っている	84	34.7%
聞いたことがあるが詳しくは知らなかった	90	37.2%
知らなかった	61	25.2%
未記入	7	2.9%
合計	242	100.0%



Q5 あなたが薬局で薬剤師へ相談したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

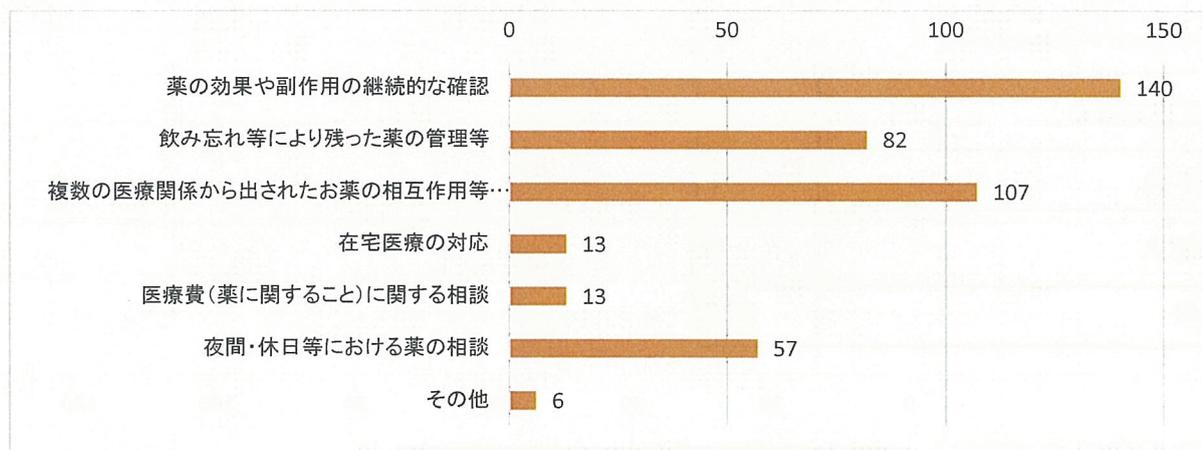
	人数
ご自身が使用している薬のこと	74
ご家族が使用している薬のこと	55
お子さんへの薬の飲ませ方	101
薬などの誤飲に対する相談	15
ジェネリック医薬品のこと	63
市販薬のこと	99
サプリメントなど健康食品のこと	36
健康の保持・増進のこと	18
在宅医療や介護のこと	14
医療費のこと	15
その他	9
未記入	8
合計	507



薬剤師・薬局に関する事前アンケート集計(子育て世代)(242名)

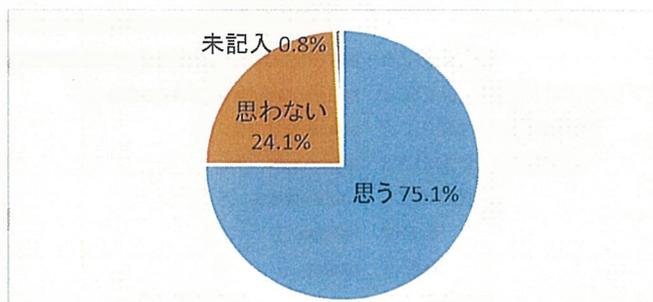
Q6 あなたが薬局で薬剤師へ望むことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	人数
薬の効果や副作用の継続的な確認	140
飲み忘れ等により残った薬の管理等	82
複数の医療関係から出されたお薬の相互作用等の確認	107
在宅医療の対応	13
医療費(薬に関すること)に関する相談	13
夜間・休日等における薬の相談	57
その他	6
未記入	11
合計	429



Q7 あなたは、今後、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

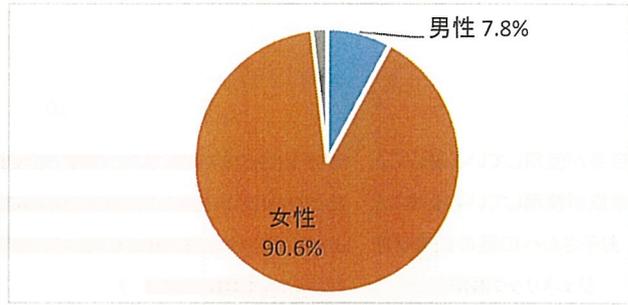
	人数	%
思う	178	75.1%
思わない	57	24.1%
未記入	2	0.8%
合計	237	100.0%



薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(子育て世代)(64名)

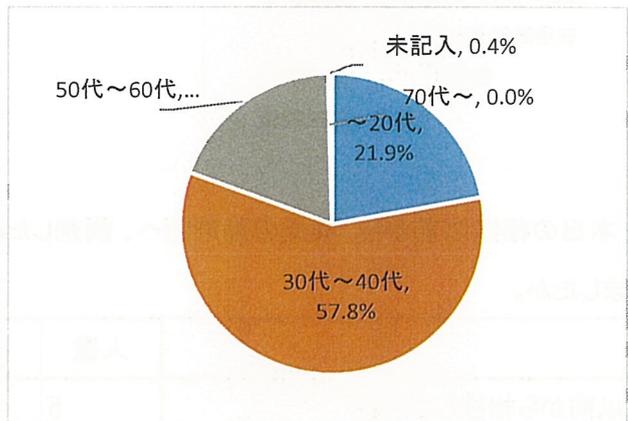
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	5	7.8%
女性	58	90.6%
未記入	1	1.9%
合計	64	100.0%



Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

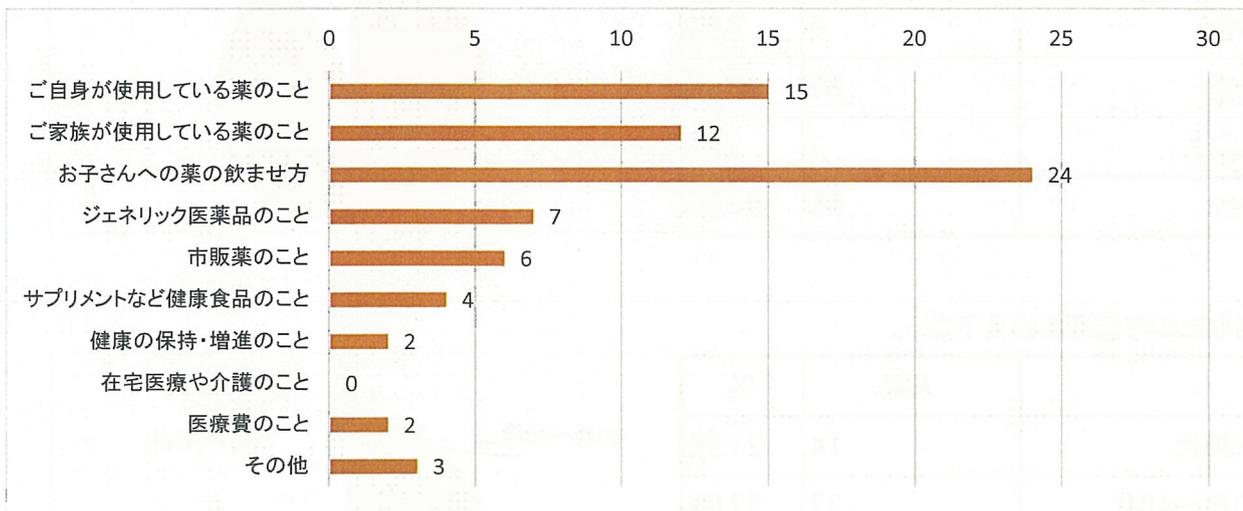
	人数	%
～20代	14	21.9%
30代～40代	37	57.8%
50代～60代	12	18.8%
70代～	0	0.0%
未記入	1	0.4%
合計	64	100.0%



Q3 本日はどのような相談をされていましたか。あてはまるものすべてお選び下さい。

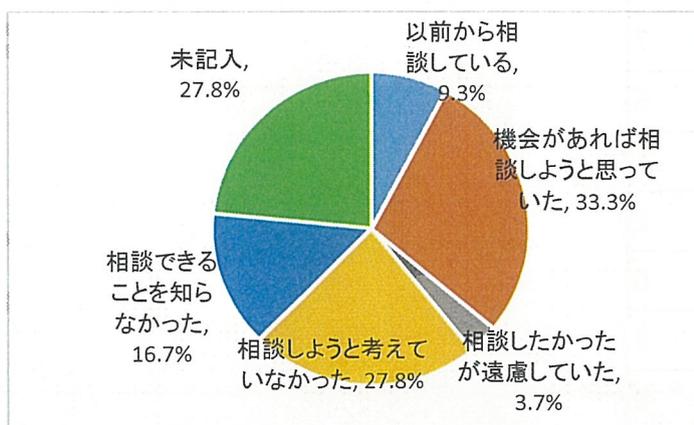
	人数
ご自身が使用している薬のこと	15
ご家族が使用している薬のこと	12
お子さんへの薬の飲ませ方	24
ジェネリック医薬品のこと	7
市販薬のこと	6
サプリメントなど健康食品のこと	4
健康の保持・増進のこと	2
在宅医療や介護のこと	0
医療費のこと	2
その他	3
未記入	2
合計	77

薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(子育て世代)(64名)



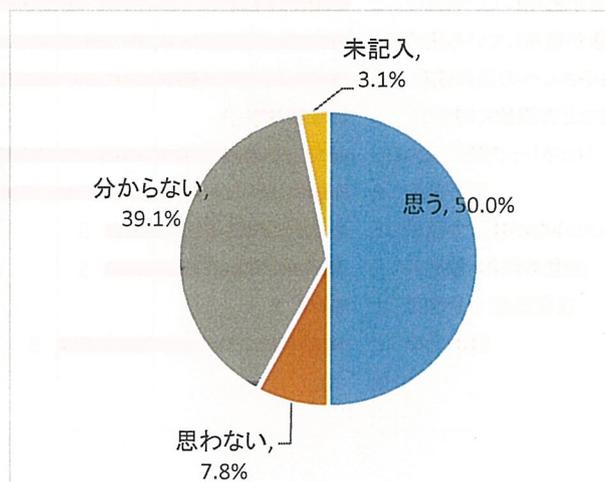
Q4 本日の相談以前から、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことを相談しようと思ってい
ましたか。

	人数	%
以前から相談している	5	9.3%
機会があれば相談しようと思っていた	18	33.3%
相談したかったが遠慮していた	2	3.7%
相談しようと考えていなかった	15	27.8%
相談できることを知らなかった	9	16.7%
未記入	15	27.8%
合計	64	100.0%



Q5 今後は薬局の薬剤師へ調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

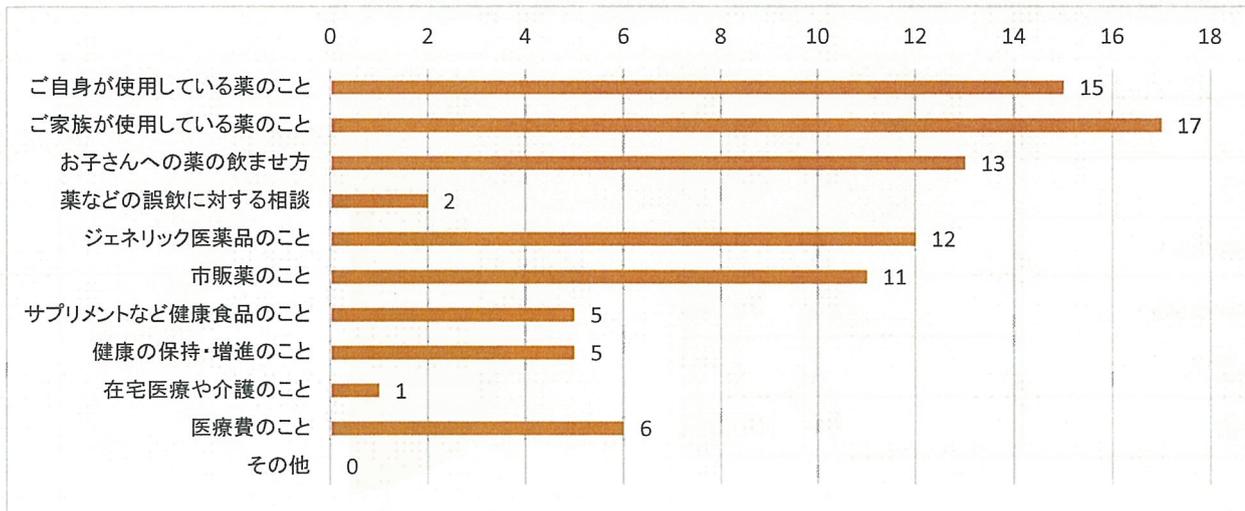
	人数	%
思う	32	50.0%
思わない	5	7.8%
分からない	25	39.1%
未記入	2	3.1%
合計	64	100.0%



Q6 上記で「1 思う」と回答された方に伺います。今後相談したいことは何ですか。当てはまるものを全てお選び下さい

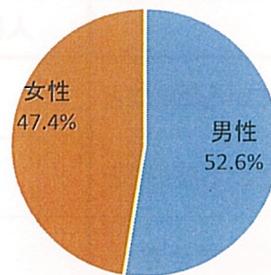
	人数
ご自身が使用している薬のこと	15
ご家族が使用している薬のこと	17
お子さんへの薬の飲ませ方	13
薬などの誤飲に対する相談	2
ジェネリック医薬品のこと	12
市販薬のこと	11
サプリメントなど健康食品のこと	5
健康の保持・増進のこと	5
在宅医療や介護のこと	1
医療費のこと	6
その他	0
合計	87

薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(子育て世代)(64名)



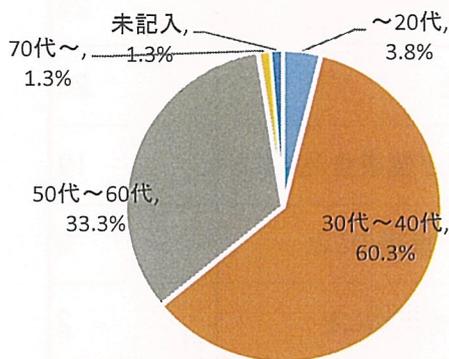
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	41	52.6%
女性	37	47.4%
未記入	0	0.0%
合計	78	100.0%



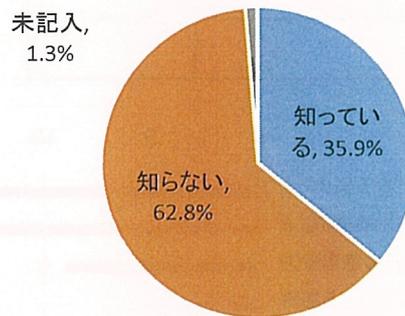
Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

	人数	%
～20代	3	3.8%
30代～40代	47	60.3%
50代～60代	26	33.3%
70代～	1	1.3%
未記入	1	1.3%
合計	78	100.0%



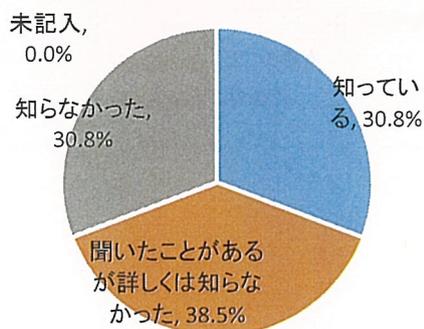
Q3 薬局の薬剤師には、調剤した薬以外にも、市販の薬や日常の健康相談などができることを知っていますか。

	人数	%
知っている	28	35.9%
知らない	49	62.8%
未記入	1	1.3%
合計	78	100.0%



Q4 あなたは、「かかりつけ薬剤師・薬局」のことを知っていましたか。

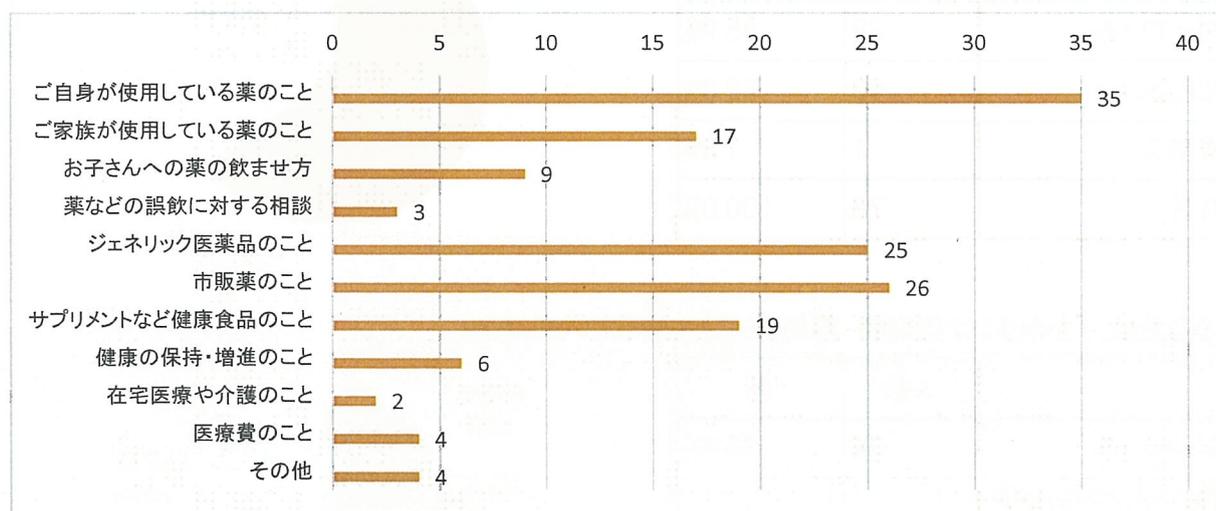
	人数	%
知っている	24	30.8%
聞いたことがあるが詳しくは知らなかった	30	38.5%
知らなかった	24	30.8%
未記入	0	0.0%
合計	78	100.0%



薬剤師・薬局に関する事前アンケート集計(中高年世代)(78名)

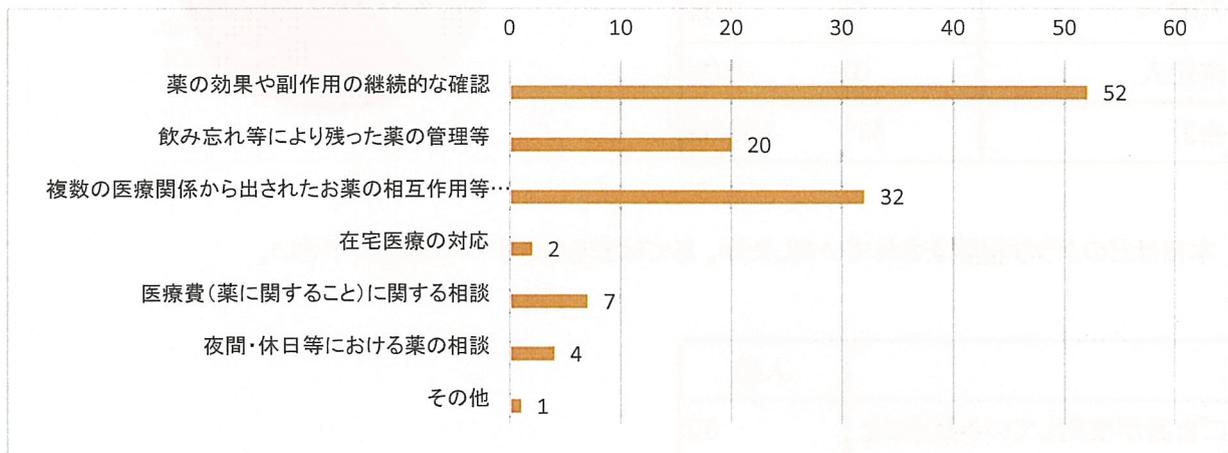
Q5 あなたが薬局で薬剤師へ相談したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	人数
ご自身が使用している薬のこと	35
ご家族が使用している薬のこと	17
お子さんへの薬の飲ませ方	9
薬などの誤飲に対する相談	3
ジェネリック医薬品のこと	25
市販薬のこと	26
サプリメントなど健康食品のこと	19
健康の保持・増進のこと	6
在宅医療や介護のこと	2
医療費のこと	4
その他	4
未記入	5
合計	155



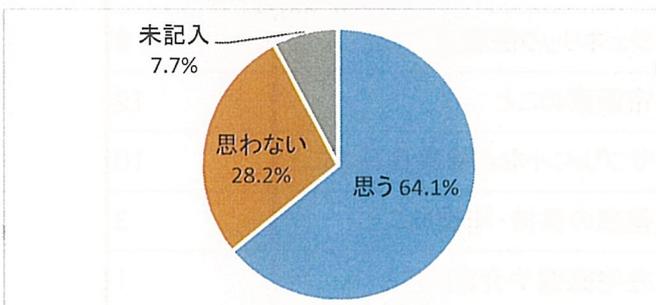
Q6 あなたが薬局で薬剤師へ望むことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	人数
薬の効果や副作用の継続的な確認	52
飲み忘れ等により残った薬の管理等	20
複数の医療関係から出されたお薬の相互作用等の確認	32
在宅医療の対応	2
医療費(薬に関すること)に関する相談	7
夜間・休日等における薬の相談	4
その他	1
未記入	7
合計	125



Q7 あなたは、今後、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

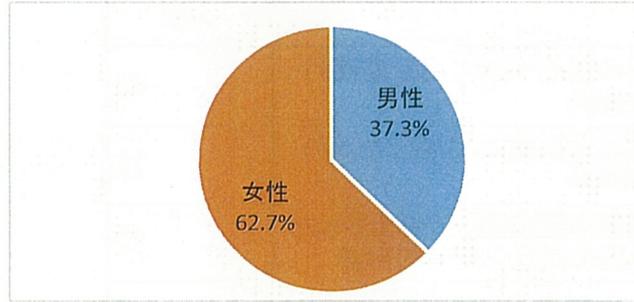
	人数	%
思う	50	64.1%
思わない	22	28.2%
未記入	6	7.7%
合計	78	100.0%



薬剤師・薬局に関する事前アンケート集計(川崎)(51名)

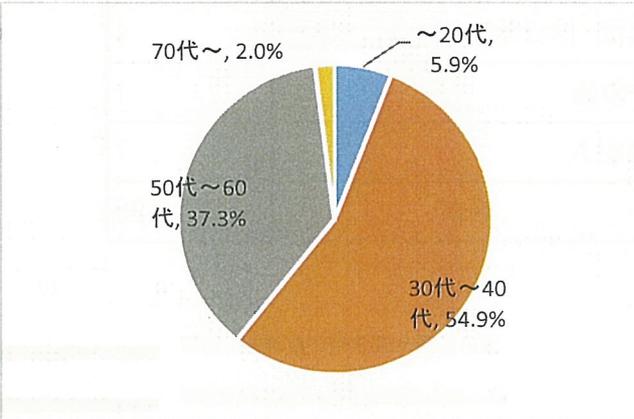
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	19	37.3%
女性	32	62.7%
未記入	0	0.0%
合計	51	100.0%



Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

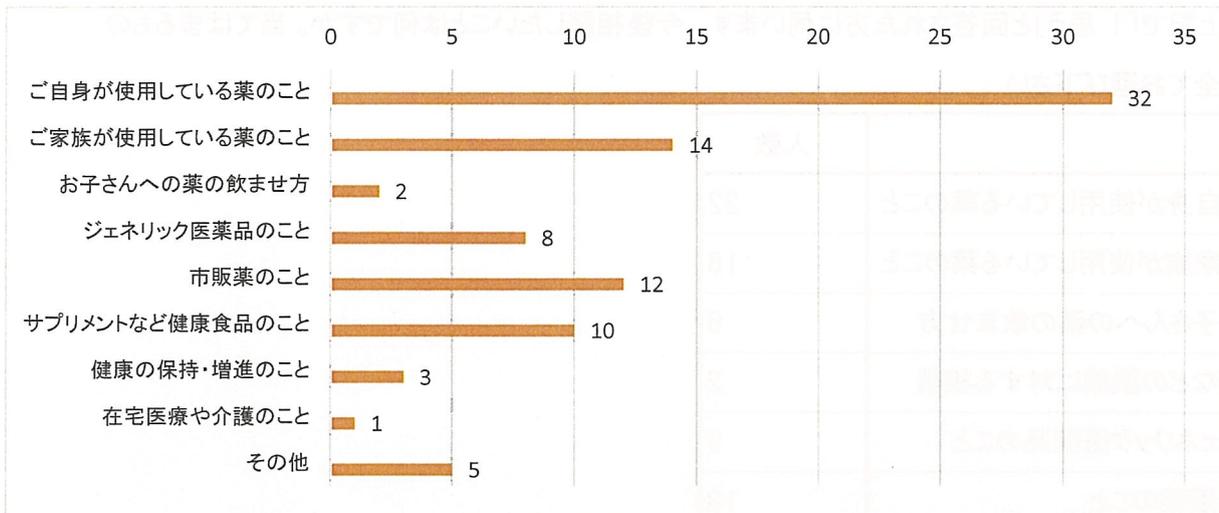
	人数	%
～20代	3	5.9%
30代～40代	28	54.9%
50代～60代	19	37.3%
70代～	1	2.0%
未記入	0	0.0%
合計	51	100.0%



Q3 本日はどのような相談をされていましたか。あてはまるものすべてお選び下さい。

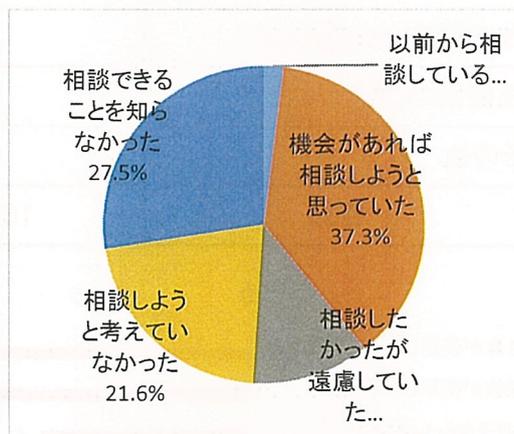
	人数
ご自身が使用している薬のこと	32
ご家族が使用している薬のこと	14
お子さんへの薬の飲ませ方	2
ジェネリック医薬品のこと	8
市販薬のこと	12
サプリメントなど健康食品のこと	10
健康の保持・増進のこと	3
在宅医療や介護のこと	1
医療費のこと	0
その他	5
合計	87

薬剤師・薬局に関する事前アンケート集計(川崎)(51名)



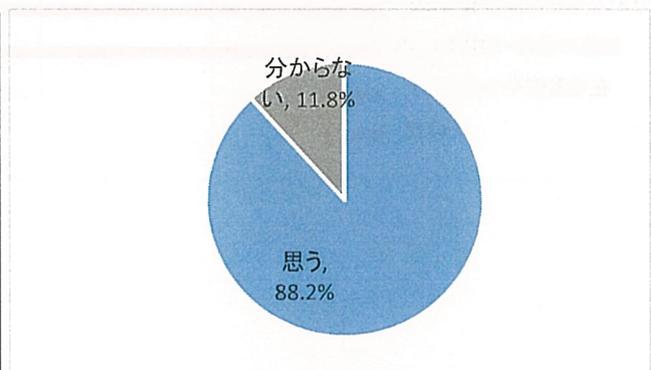
Q4 本日の相談以前から、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことを相談しようと思っていましたか。

	人数	%
以前から相談している	1	2.0%
機会があれば相談しようと思っていた	19	37.3%
相談したかったが遠慮していた	6	11.8%
相談しようと考えていなかった	11	21.6%
相談できることを知らなかった	14	27.5%
合計	51	100.0%



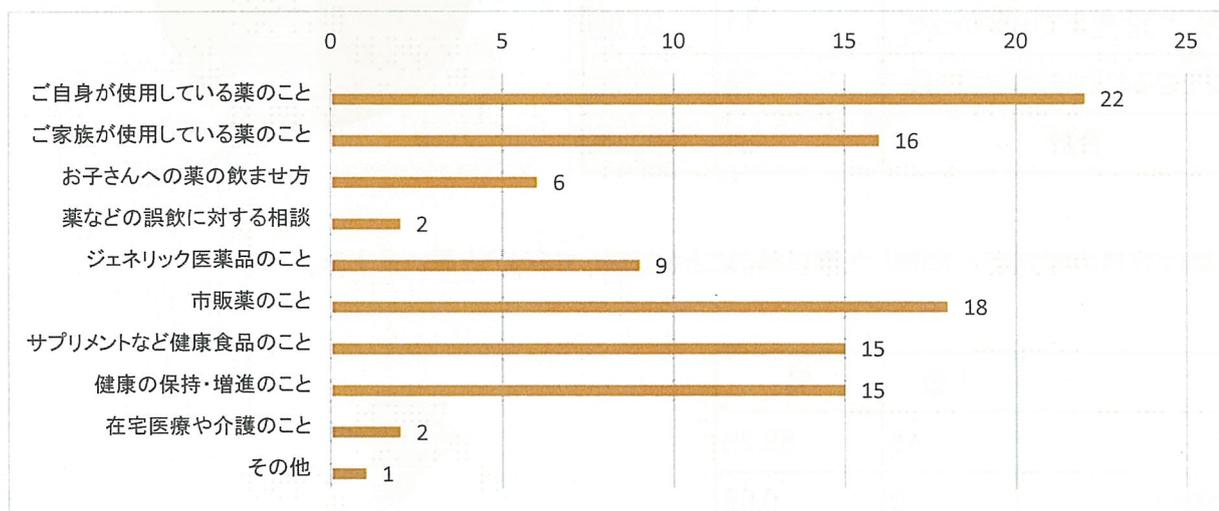
Q5 今後は薬局の薬剤師へ調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

	人数	%
思う	45	88.2%
思わない	0	0.0%
分からない	6	11.8%
未記入	0	0.0%
合計	51	100.0%



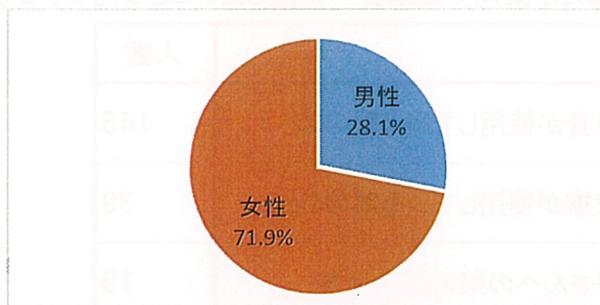
Q6 上記で「1 思う」と回答された方に伺います。今後相談したいことは何ですか。当てはまるものを全てお選び下さい

	人数
ご自身が使用している薬のこと	22
ご家族が使用している薬のこと	16
お子さんへの薬の飲ませ方	6
薬などの誤飲に対する相談	2
ジェネリック医薬品のこと	9
市販薬のこと	18
サプリメントなど健康食品のこと	15
健康の保持・増進のこと	15
在宅医療や介護のこと	2
医療費のこと	0
その他	1
合計	106



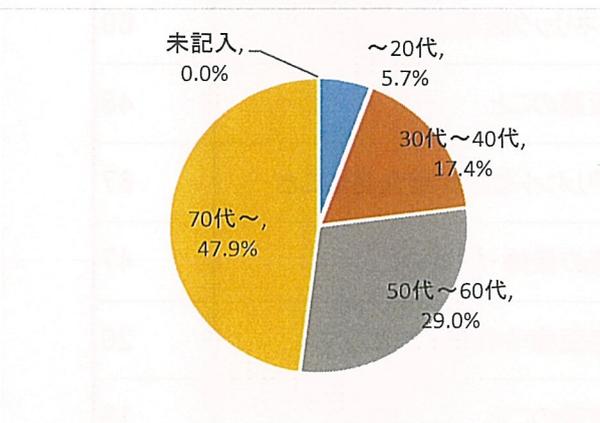
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	89	28.1%
女性	228	71.9%
未記入	0	0.0%
合計	317	100.0%



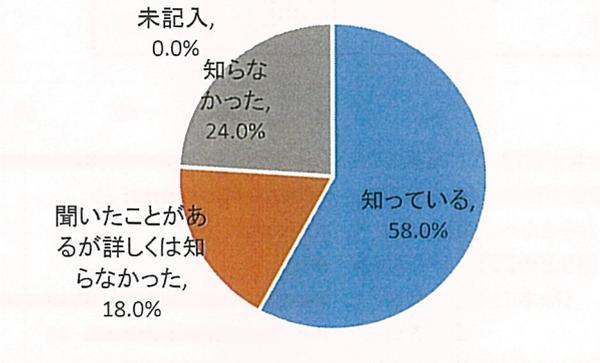
Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

	人数	%
～20代	18	5.7%
30代～40代	55	17.4%
50代～60代	92	29.0%
70代～	152	47.9%
未記入	0	0.0%
合計	317	100.0%



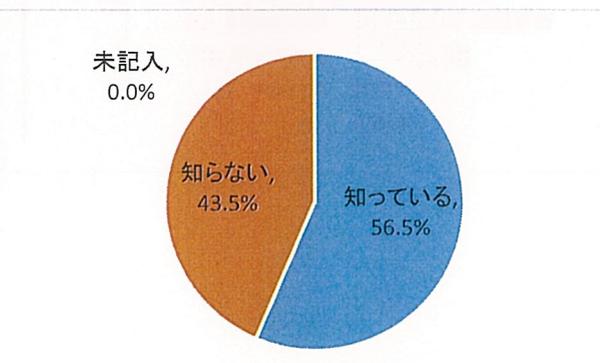
Q3 薬局の薬剤師には、調剤した薬以外にも、市販の薬や日常の健康相談などができることを知っていますか。

	人数	%
知っている	179	56.5%
知らない	138	43.5%
未記入	0	0.0%
合計	317	100.0%



Q4 あなたは、「かかりつけ薬剤師・薬局」のことを知っていましたか。

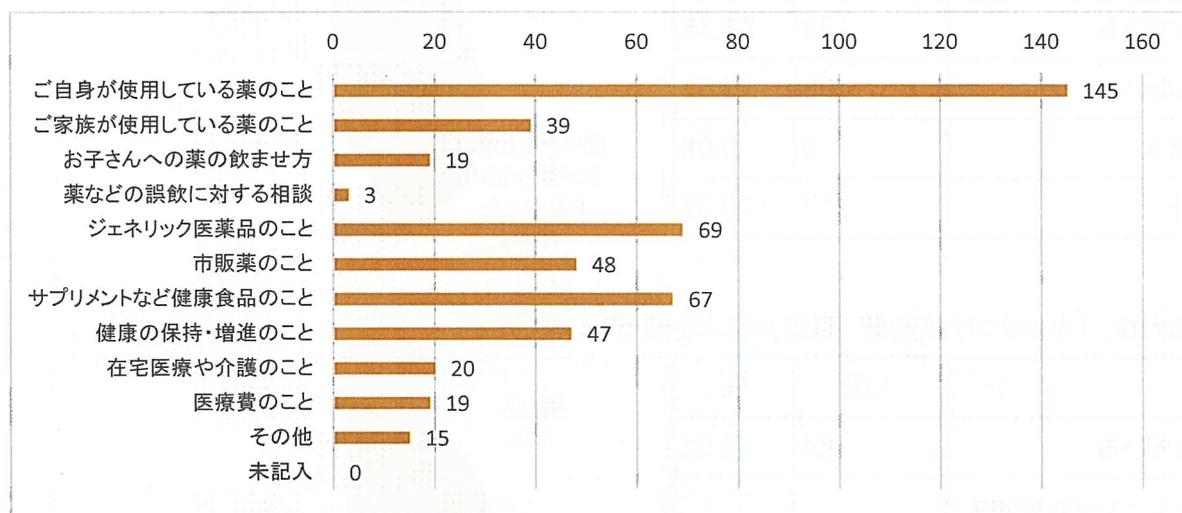
	人数	%
知っている	184	58.0%
聞いたことがあるが詳しくは知らなかった	57	18.0%
知らなかった	76	24.0%
未記入	0	0.0%
合計	317	100.0%



薬剤師・薬局に関する事前アンケート集計(高年齢世代)(317名)

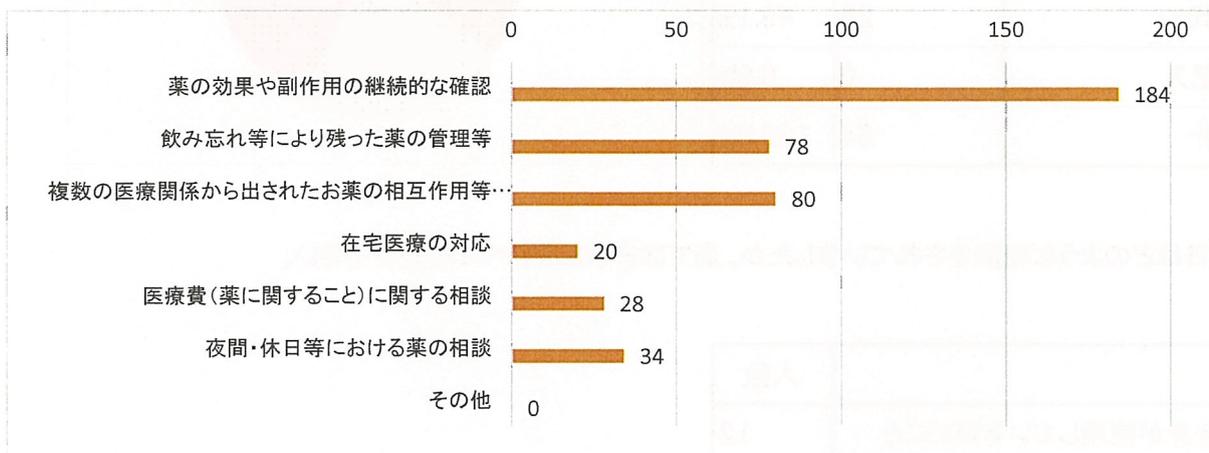
Q5 あなたが薬局で薬剤師へ相談したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	人数
ご自身が使用している薬のこと	145
ご家族が使用している薬のこと	39
お子さんへの薬の飲ませ方	19
薬などの誤飲に対する相談	3
ジェネリック医薬品のこと	69
市販薬のこと	48
サプリメントなど健康食品のこと	67
健康の保持・増進のこと	47
在宅医療や介護のこと	20
医療費のこと	19
その他	15
未記入	0
合計	491



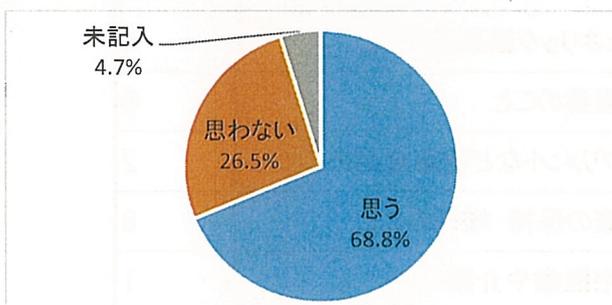
Q6 あなたが薬局で薬剤師へ望むことは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

	人数	%
薬の効果や副作用の継続的な確認	184	58.0%
飲み忘れ等により残った薬の管理等	78	24.6%
複数の医療関係から出されたお薬の相互作用等の確認	80	25.2%
在宅医療の対応	20	6.3%
医療費(薬に関すること)に関する相談	28	8.8%
夜間・休日等における薬の相談	34	10.7%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%
合計	424	133.8%



Q7 あなたは、今後、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

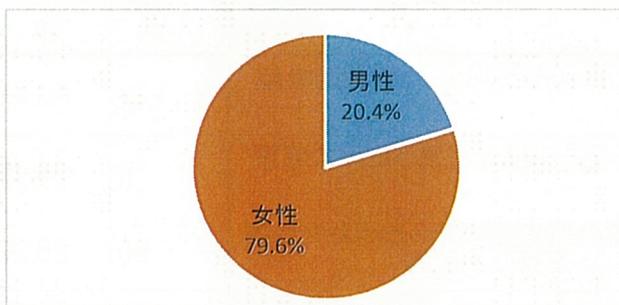
	人数	%
思う	218	68.8%
思わない	84	26.5%
未記入	15	4.7%
合計	317	100.0%



薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(高年齢世代)(54名)

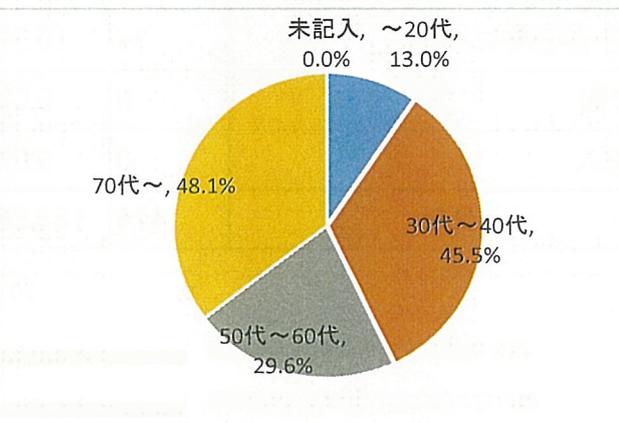
Q1 あなたの性別をお答え下さい。

	人数	%
男性	11	20.4%
女性	43	79.6%
未記入	0	0.0%
合計	54	100.0%



Q2 あなたの年齢をお答え下さい。

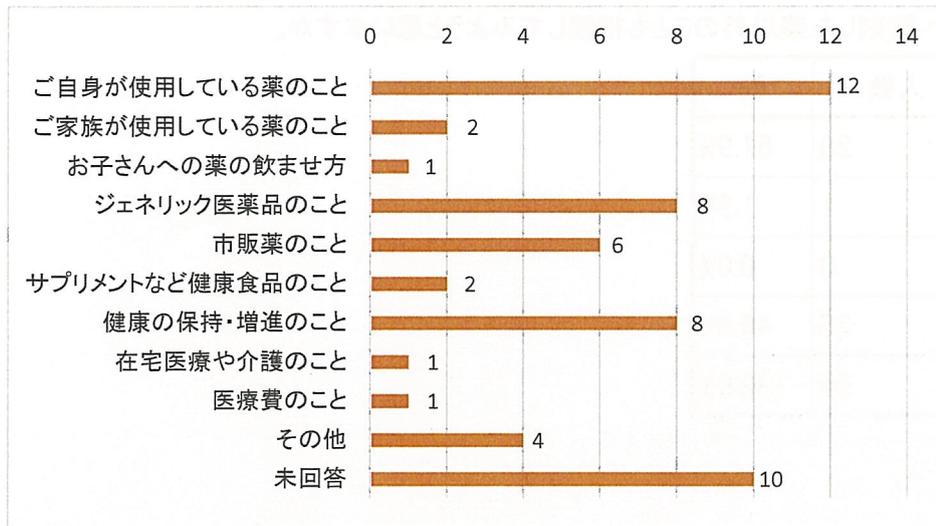
	人数	%
～20代	7	13.0%
30代～40代	5	45.5%
50代～60代	16	29.6%
70代～	26	48.1%
未記入	0	0.0%
合計	54	100.0%



Q3 本日はどのような相談をされてきましたか。あてはまるものすべてお選び下さい。

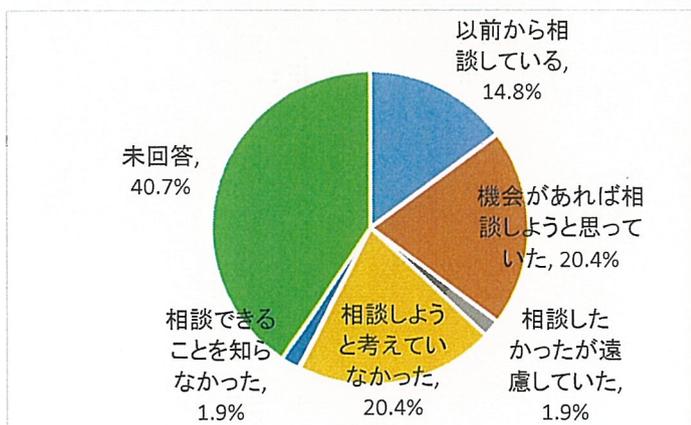
	人数
ご自身が使用している薬のこと	12
ご家族が使用している薬のこと	2
お子さんへの薬の飲ませ方	1
ジェネリック医薬品のこと	8
市販薬のこと	6
サプリメントなど健康食品のこと	2
健康の保持・増進のこと	8
在宅医療や介護のこと	1
医療費のこと	1
その他	4
未回答	10
合計	55

薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(高年齢世代)(54名)



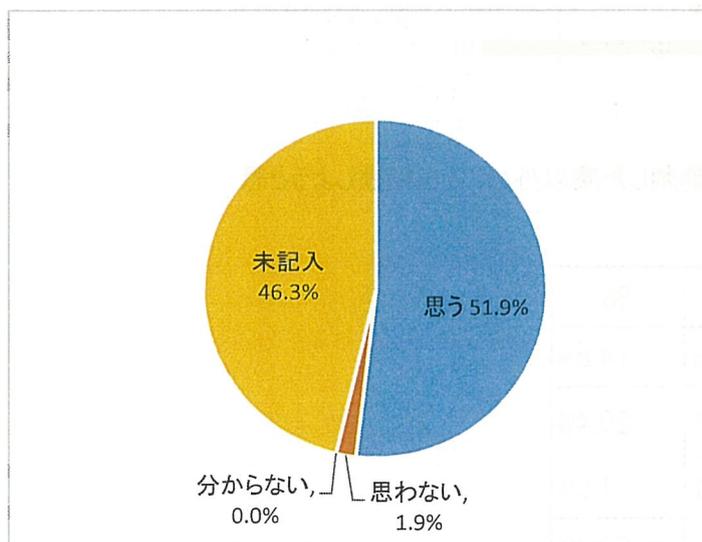
Q4 本日の相談以前から、薬局の薬剤師へ、調剤した薬以外のことを相談しようと思
っていましたか。

	人数	%
以前から相談している	8	14.8%
機会があれば相談しようと思っていた	11	20.4%
相談したかったが遠慮していた	1	1.9%
相談しようと考えていなかった	11	20.4%
相談できることを知らなかった	1	1.9%
未回答	22	40.7%
合計	54	100.0%



Q5 今後は薬局の薬剤師へ調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

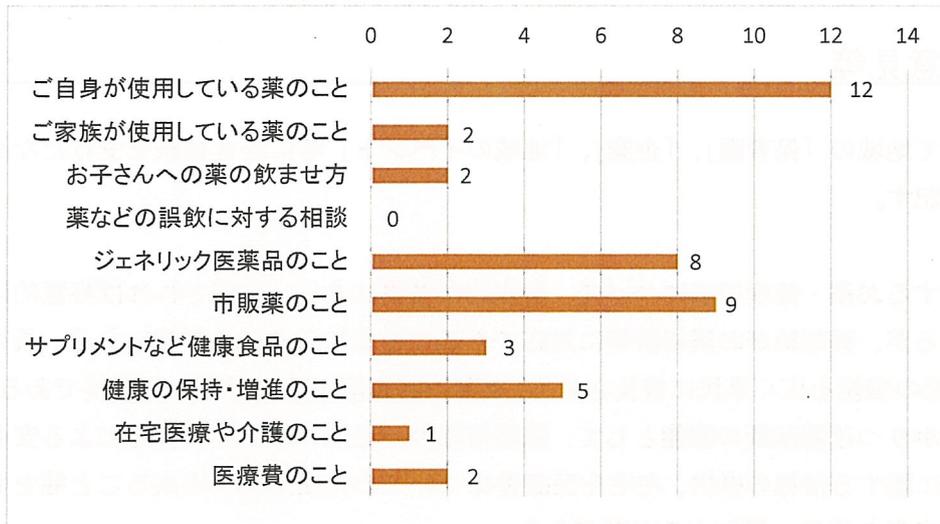
	人数	%
思う	28	51.9%
思わない	1	1.9%
分からない	0	0.0%
未記入	25	46.3%
合計	54	100.0%



Q6 上記で「1 思う」と回答された方に伺います。今後相談したいことは何ですか。当てはまるものを全てお選び下さい

	人数
ご自身が使用している薬のこと	12
ご家族が使用している薬のこと	2
お子さんへの薬の飲ませ方	2
薬などの誤飲に対する相談	0
ジェネリック医薬品のこと	8
市販薬のこと	9
サプリメントなど健康食品のこと	3
健康の保持・増進のこと	5
在宅医療や介護のこと	1
医療費のこと	2
未回答	10
合計	54

薬剤師・薬局に関する事後アンケート集計(高年齢世代)(54名)



6 薬剤師からの意見等

薬局薬剤師が外へ出て地域の「保育園」、「企業」、「地域のイベント」等に赴き相談を受けたなかで気づきの点を以下に記す。

- 薬剤師の実施するお薬・健康相談について、潜在的な需要は多く、実施されれば好意的に受け入れられるが、薬剤師がお薬相談等に対応できることを知らない人が多いため、具体的には、薬剤師の職能を広く県民に普及させて、薬業の認知度を高めることが重要である。
- 薬剤師が、かかりつけ薬剤師の機能として、服薬情報の一元的・継続的な管理による安心感、健康増進に関する情報の提供、在宅や医療費についての相談対応が出来ること等をもっと積極的に患者や住民へ周知する必要がある。
- 県民の知識の向上をはかるには、医療用医薬品以外の一般用医薬品や医療衛生材料などの丁寧な説明が必要である。
- 薬局薬剤師が調剤以外の相談にも積極的に関与していくことが重要であり、そのためには、地域薬剤師会等のさらなる普及事業に加え、薬剤師の資質向上が必要である。
- かかりつけ薬剤師・薬局の機能を知らせるための講演会やイベントを地域の薬剤師会で行うことも解決策としてよいのではないか。
- 多職種連携への取組を積極的に行い、それを住民に周知するよう相談窓口のリスト等を作成してみてもどうか。
- 薬を使用している人だけでなく、健康な人への働きかけも必要である。

7 考察

(1) 世代ごとの特徴について

- 薬局薬剤師に、調剤した薬以外のことを相談できることを知らなかった人の割合は、高い順から、中高年世代（62.8%）、子育て世代（49.2%）、高齢世代（43.5%）となっており、子供や高齢者に比べ、働く世代は、日頃、薬局との関わり薄いことが要因の1つとして推察された。
- 薬局の薬剤師に相談したいことについては、子育て世代では、「子供への薬の飲ませ方」、高齢世代では、「健康保持・増進のこと」が、世代の特徴として見受けられた。
- かかりつけ薬剤師・薬局の認知度は、高齢世代が58.0%と高かったが、それ以外の世代では、30%台と、十分な認知度とは言い難い状況であった。「聞いたことがある」を合わせると、すべての世代で、ほぼ70%台となり、言葉としての「かかりつけ薬剤師・薬局」は、認知されてきているものの、患者や住民にとって有用な機能等について今後更に周知の必要があることが分かった。
- 以前から、薬局薬剤師に調剤した薬以外のことを相談していたという回答は、高齢世代では14%だったが、他の世代では子育て世代が9.3%、中高年はわずか2%であった。しかし、機会があれば相談しようと思っている状況は、高齢世代で20%、その他の世代は30%台であり、更に相談できることを知らない、遠慮して相談できないという

人も一定数いたことから、薬局が積極的に患者や住民とのコミュニケーションを図っていくことで、健康等の相談者は増えていくことが推察された。

(2) 各世代に共通していた事項について

- ▶ 薬局の薬剤師に相談したいこととして、多かった事項は、自分が使用している薬のこと、ジェネリック医薬品のこと、市販薬のことであった。
- ▶ 薬局で薬剤師に望むことは、1位：薬の副作用の継続的な確認、2位：複数の医療機関から出された薬の相互作用等の確認、3位：飲み忘れにより残った薬の管理であり、いずれも、かかりつけ薬剤師・薬局が待つ機能の内容と一致していた。このことから、薬局・薬剤師がかかりつけ機能を強化し、患者や住民に周知していくことが、今後の普及定着に向け重要であると、改めて確認できた。

(3) 事業における意識の変容について

- ▶ 中高年世代における相談後のアンケートでは、「本日の相談以前から、薬局薬剤師に調剤した薬以外のことを相談している。相談しようと思っていた。」の割合が39.3%であったが、「今後は薬局薬剤師に調剤した薬以外のことを相談しようと思う」割合が88.2%となり、実際の相談体験が、かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の有用性を知るうえで非常に効果的に働いたものと考えられた。
- ▶ 事前アンケートの結果においても、薬局薬剤師に調剤した薬以外の相談ができることを知っていた人の割合は、各世代で35.9~56.5%であったが、チラシ等でかかりつけ薬剤師・薬局について情報提供を行ったことにより、高年齢世代では、68.8%、中高年世代では64.1%、子育て世代では、75.1%が、今後薬局の薬剤師に調剤した薬以外のことも相談してみようと思うという意識を持つ結果となった。このことから、患者や住民の意識を変えるためには、かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の機能をしっかりと周知することが必要と考えられた。
- ▶ 一方、事前アンケートでは、30%弱の人は、相談しようとは思わないとの回答となっており、その理由について、今回は調査を行っていないが、健康な人は、薬局へ行く頻度が低いため、相談の有用性を実感できないことも考えられ、セルフメディケーションのための薬局の有用性などを周知していくことで、利用意欲が高まる可能性もあると考える。

(4) その他、アンケートで分かったこと

- ▶ 薬局が健康等の相談を受けていることを知らないことで、患者や住民が薬局の機能を活用できていない状況がうかがえた。
- ▶ 薬局は、健康な人も健康増進、セルフメディケーションの観点で関わることのできる場所であり、それらの普及啓発も行っていくことが必要と考える。
- ▶ 薬局薬剤師が、積極的にかかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の周知を図ることで、県民の意識が変わる可能性が示唆された。



8 事業の成果

- ▶ 薬局薬剤師が出張して県民に能動的に働きかけを行ったことで、日頃、相談したことのない内容も気兼ねなく薬局薬剤師に相談でき、このことをきっかけに、県民に薬局薬剤師の役割について新たな認識を持ってもらうことができた。
- ▶ かかりつけ薬剤師・薬局の機能等について、チラシや実際の相談において情報提供を行ったことで、意識の変容が見受けられたため、患者や住民に対する直接の情報発信は非常に重要であることが分かった。
- ▶ 薬剤師においても、実際の出張相談業務に関わったことで、幅広い知識の向上や多職種連携等の意欲が生まれ、今後積極的な取組につながることを期待される。

9 今後の課題及びその解決策

住民は、薬局薬剤師に対し、かかりつけ機能を求めているにも関わらず、その機能を薬局薬剤師が有していることの周知が十分でないことが原因で、かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の活用に至っていない状況がアンケート結果から推察された。

今回の出張相談事業を、「お薬・健康相談」としたことで、対象者が「薬を使用している人」と捉えられてしまい、「健康な人も相談できる」ということが十分伝わらなかった可能性もあったため、今後同様の取組を行う際には、健康な人を含めた、かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局を持つ有用性の周知を行うための工夫が必要と感じた。

これらのことを解決するために、本事業の取組を今後も更に進め、県民に対して、かかりつけ薬剤師・薬局の機能や有用性について効果的な周知を図ることが重要と考える。

各世代における結果から、薬剤師の機能を活かしていくことや患者対応への意識を高めることの重要性を感じる。

今回のアンケートからは相談前・相談後の満足度を明確に読み取ることが出来ないために、相談して良かった、相談しても的確でなかった等の事例を調べることも重要と考える。

ホームページなどの情報を分かりやすく紹介することも有効な方法のひとつと考える。

10 まとめ

本事業の実施結果については、県薬剤師会及び地域薬剤師会で情報を共有し、今後の各地域の取組に生かしたい。

情報化時代となりどこからでも情報を手にすることができるが、ネットではすぐに回答が得られない。対面での服薬における説明は、安全、安心な服薬管理が出来ると考える。

今回の取り組みの大きな要素は、薬剤師が、関わり合いを持ちにくかった保育園、企業等に薬剤師が赴き、そこで本人や保護者に、企業の中の健康担当者などと協同して薬に関する対話を行なう



ことによって薬剤師の新たな展開を図ることができた。

企業からも、お薬の話を社員に伝えるにはどうしたらいいかとの問い合わせが薬剤師会に寄せられている。また、医療機関に関わりを持ちやすい乳幼児とその家族の不安に対する丁寧な服薬指導等の相談対応の重要性が改めて認識できた。

そして、地域包括ケアシステムの中にあっては、多職種の方々に共通の認識を持って、安心、安全な服薬指導等がなされることが重要と考える。県民に対するかかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の普及啓発に取り組むことに加え、薬剤師の意見にあった幅広い知識の向上や多職種連携、在宅への取組についても推進を図る必要がある。



【相談後アンケート】 出張お薬相談アンケート

薬剤師の出張お薬・健康相談をお受けになっていかがでしたか？

今後、私たちが、よりよい「かかりつけ薬剤師・薬局」となるために、皆様のご意見、ご感想をお聞かせください。

Q1 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 1 ~20代 2 30代~40代 3 50代~60代 4 70代~

Q3 本日は、どのような相談をされましたか。あてはまるものを全てお選びください。

- 1 ご自身が使用している薬のこと 2 ご家族が使用している薬のこと
3 お子さんへの薬の飲ませ方 4 ジェネリック医薬品のこと
5 市販薬のこと 6 サプリメントなど健康食品のこと
7 健康の保持・増進のこと 8 在宅医療や介護のこと
9 医療費のこと 10 その他()

Q4 本日の相談以前から、薬局の薬剤師に、調剤した薬以外のことを相談しようと思っていましたか。

- 1 以前から相談している 2 機会があれば相談しようと思っていた
3 相談したかったが遠慮していた 4 相談しようと考えていなかった
5 相談できることを知らなかった

Q5 今後は、薬局の薬剤師に、調剤した薬以外のことも相談してみようと思いますか。

- 1 思う 2 思わない 3 分からない

Q6 「Q5」で「1 思う」と回答された方に伺います。今後、相談したいことは何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

- 1 ご自身が使用している薬のこと 2 ご家族が使用している薬のこと
3 お子さんへの薬の飲ませ方 4 薬などの誤飲に対する相談
5 ジェネリック医薬品のこと 6 市販薬のこと
7 サプリメントなど健康食品のこと 8 健康の保持・増進のこと
9 在宅医療や介護のこと 10 医療費のこと
11 その他()

ご協力ありがとうございました。

出張お薬・健康相談

薬剤師が伺います

皆さんの保育所へ薬局の薬剤師が出張し、薬や健康に関する様々な相談をお受けします。

子供のための誤飲防止対策や薬の飲ませ方、保護者の方が使用している薬のこと、サプリメントと薬の飲み合わせ、健康の保持や増進に関することなど、日頃気になっていることについて、何でもお気軽にご相談ください。

● 日時：平成 年 月 日 ()

○時○○分～○時○○分

● 場所：○○

*相談は無料、事前の申し込み等は不要です。

かかりつけ薬剤師・薬局

を持ちましょう！

かかりつけ薬剤師・薬局では、皆さんの薬（医療機関で処方された薬や市販薬など）の情報をしっかり把握し、効果や副作用、飲み合わせの確認を行います。

薬の相談をはじめ、健康の保持・増進に関する相談をいつでもお受けします。皆さんの身近に信頼できる「かかりつけ薬剤師・薬局」があると安心です。

複数の医療機関から出された薬の相互作用を確認します。

お子さんの誤飲予防や、お薬の飲ませ方など、何でもご相談ください。

在宅医療の薬の相談や調剤を、夜間・休日でも対応します。

ご家族の薬や健康づくりの相談もOKです。



かかりつけ薬剤師・薬局



公益社団法人
神奈川県薬剤師会

出張お薬・健康相談

薬剤師が伺います

皆さんの事業所へ薬局の薬剤師が出張し、薬や健康に関する様々な相談をお受けします。

いつも使用している薬の飲み合わせや副作用のこと、ご家族が使用している薬のこと、サプリメントと薬の飲み合わせ、健康の保持や増進に関することなど、日頃気になっていることについて、何でもお気軽にご相談ください。

● 日時：平成 年 月 日 ()

〇時〇〇分～〇時〇〇分

● 場所：〇〇

*相談は無料、事前の申し込み等は不要です。

かかりつけ薬剤師・薬局

を持ちましょう！

かかりつけ薬剤師・薬局では、皆さんの薬（医療機関で処方された薬や市販薬など）の情報をしっかり把握し、効果や副作用、飲み合わせの確認を行います。

薬の相談をはじめ、健康の保持・増進に関する相談をいつでもお受けします。皆さんの身近に信頼できる「かかりつけ薬剤師・薬局」があると安心です。

複数の医療機関から出された薬の相互作用を確認します。

調剤した薬のこと以外にも、市販薬のこと、介護のこと、何でもご相談ください。

在宅医療の薬の相談や調剤を、夜間・休日も対応します。

禁煙相談や健康づくりの相談もOKです。



かかりつけ薬剤師・薬局



公益社団法人
神奈川県薬剤師会

出張お薬・健康相談

薬剤師が伺います

皆さんの保育所へ薬局の薬剤師が出張し、薬や健康に関する様々な相談をお受けします。

子供のための誤飲防止対策や薬の飲ませ方、保護者の方が使用している薬のこと、サプリメントと薬の飲み合わせ、健康の保持や増進に関することなど、日頃気になっていることについて、何でもお気軽にご相談ください。

- 日時：平成29年12月
6日（水）、7日（木）、8日（金）
14時00分～17時00分
- 場所：長井婦人会保育園内 *相談は無料、事前の申し込み等は不要です。

お薬の飲み合わせなどのご相談は、内容のわかる薬剤情報提供書やお薬手帳などをお持ちください。もちろん、ご家族の方のご相談も承ります。

かかりつけ薬剤師・薬局

を持ちましょう！

かかりつけ薬剤師・薬局では、皆さんの薬（医療機関で処方された薬や市販薬など）の情報をしっかり把握し、効果や副作用、飲み合わせの確認を行います。

薬の相談をはじめ、健康の保持・増進に関する相談をいつでもお受けします。皆さんの身近に信頼できる「かかりつけ薬剤師・薬局」があると安心です。

複数の医療機関から出された薬の相互作用を確認します。

お子さんの誤飲予防や、お薬の飲ませ方など、何でもご相談ください。

在宅医療の薬の相談や調剤を、夜間・休日に対応します。

ご家族の薬や健康づくりの相談もOKです。

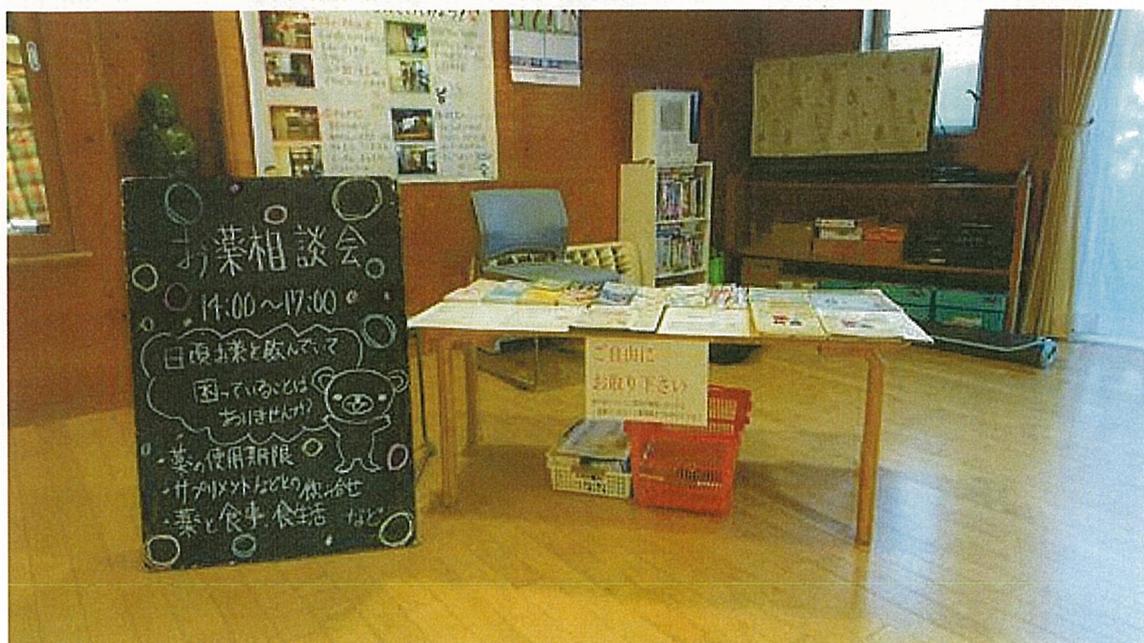
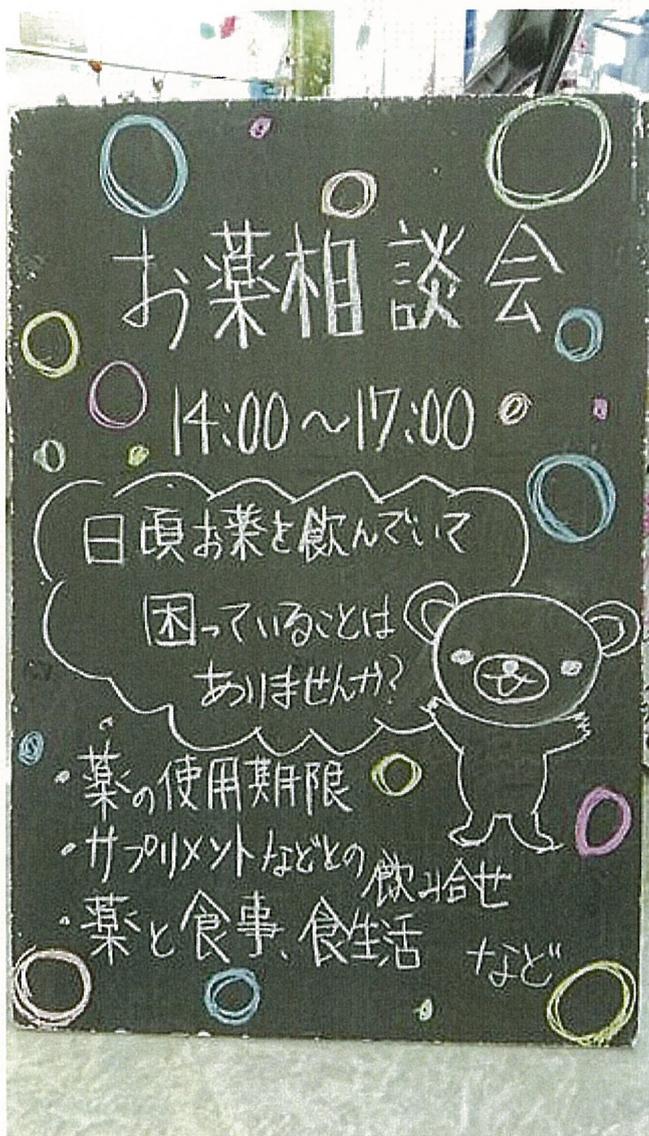


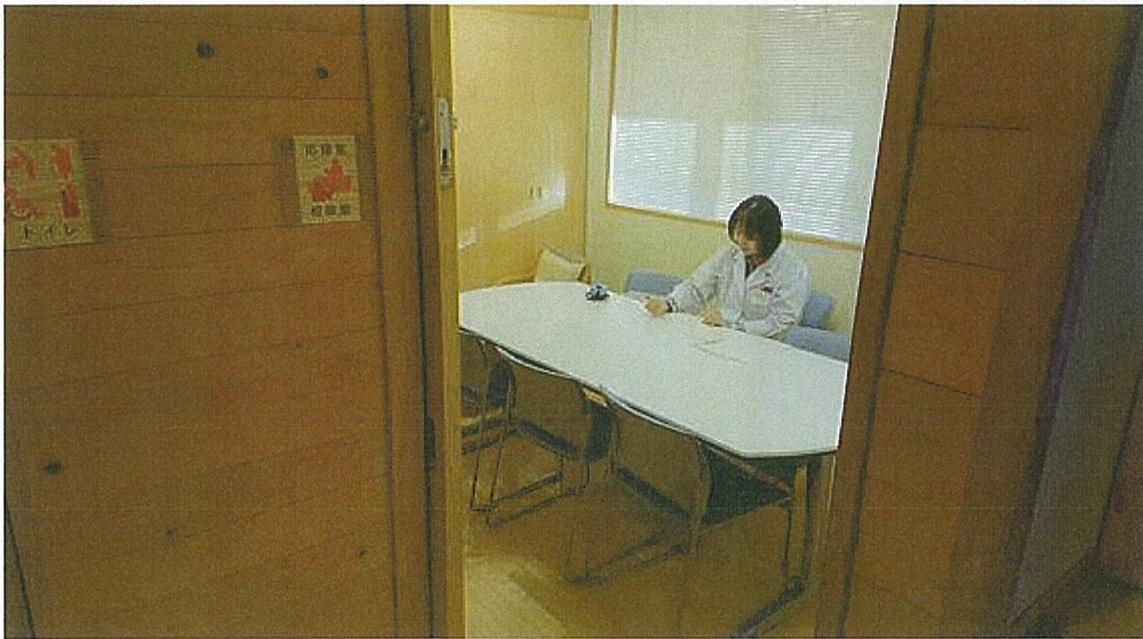
かかりつけ薬剤師・薬局

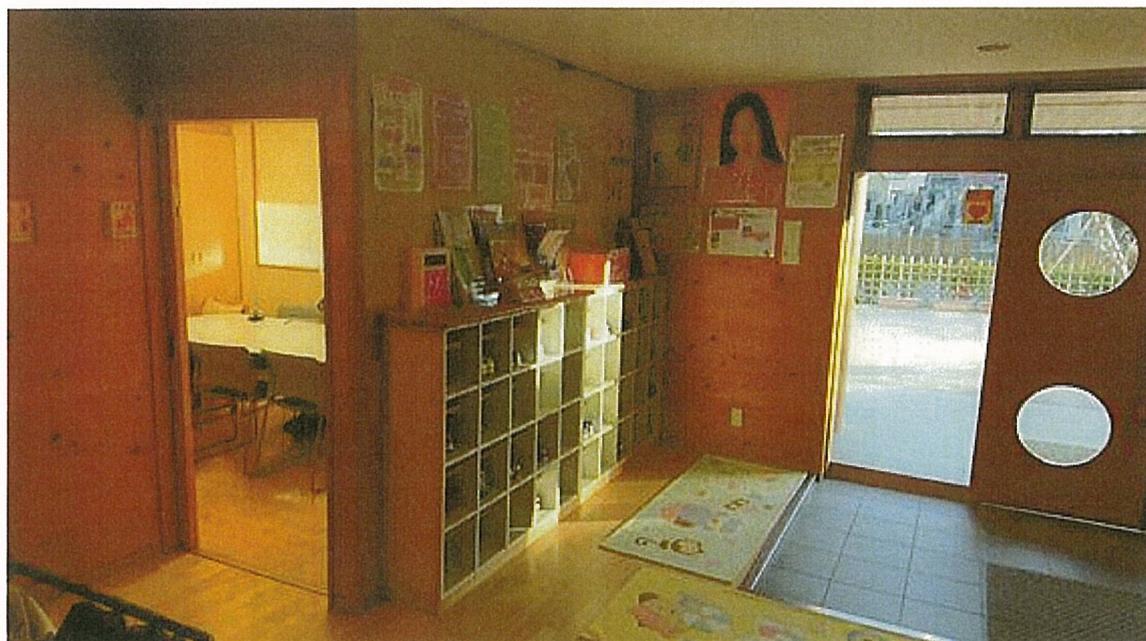


公益社団法人
神奈川県薬剤師会

【和順保育園】





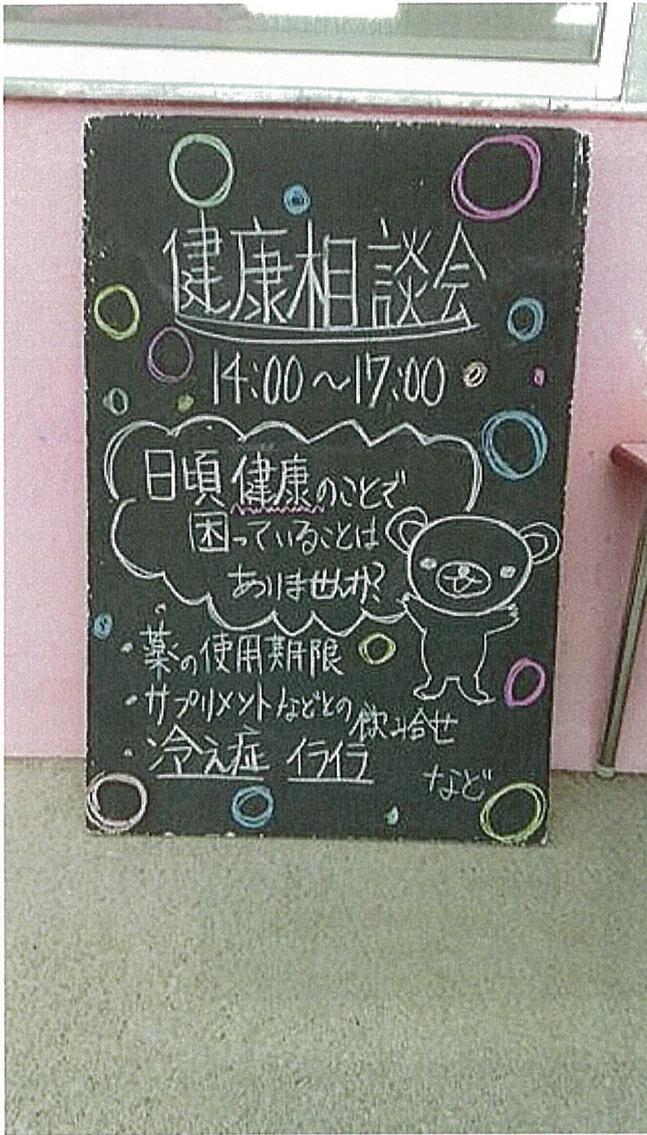


【共同誌】



【長井婦人会保育園】





【逸見保育園】









患者のための薬局ビジョン推進事業 実施状況

日時：平成29年11月29日（水） 16:00~18:00

場所：伊勢原市立中央保育園（伊勢原市伊勢原1-24-15）

（1）開始前

○ 軒下に机と椅子を用意し、相談スペースとした。



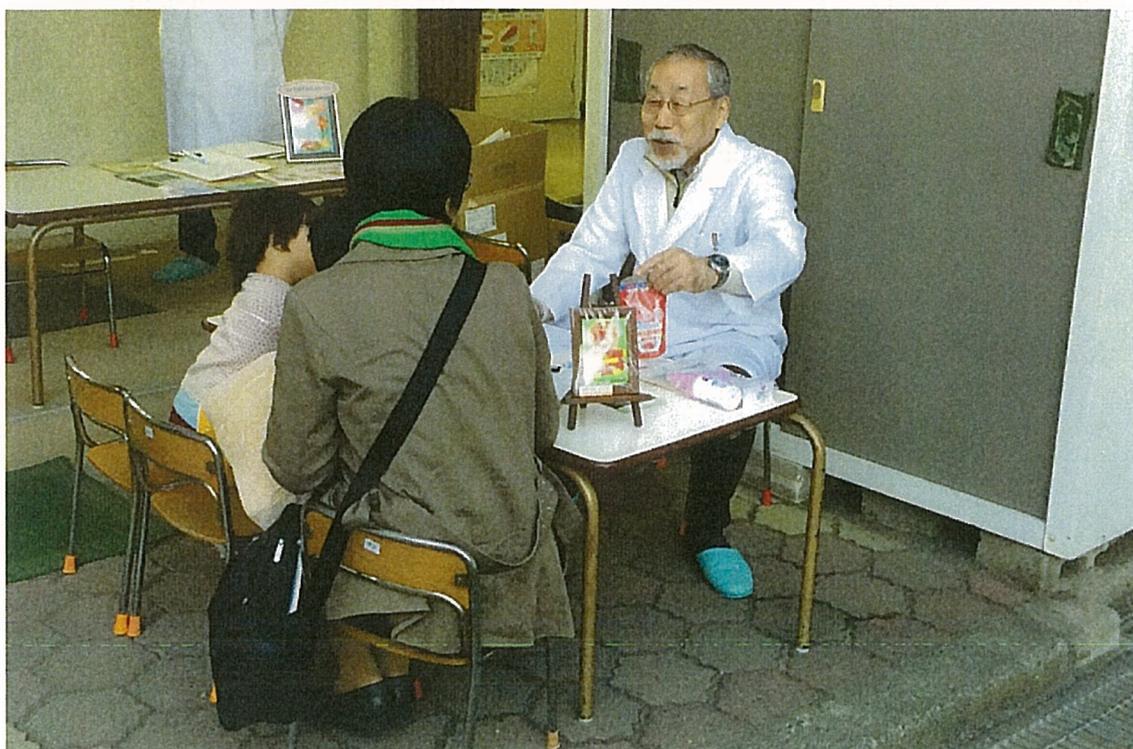
○ 相談時に利用できるリーフレットを複数用意した。



- 当日相談を利用された方に渡していたグッズの中身
(相談に来られた親子それぞれに興味を持ってもらえそうなグッズを入れた)



(2) 実施中の様子





当日、相談を利用された親子は15組で、用意していたグッズは全てなくなった。